

日本分析化学会東北支部 2023 年 第 2 回役員会

日時：2023 年 7 月 15 日（土）11:00－12:00

場所：東北大学大学院理学研究科合同 C 棟青葉サイエンスホール

2023 年第 1 回支部役員会 議事録

資料① (p.2-4)

議題

1. 理事会報告 資料② (p.5-42)
2. 第 40 回無機・分析化学コロキウム報告 資料③ (p.43-46)
3. 令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議報告
資料④ (p. 47)
4. 令和 5 年度東日本分析化学若手交流会報告 資料⑤ (p.48-50)
5. 令和 5 年度公益社団法人日本分析化学会東北支部助成金審査結果報告
資料⑥ (p.51)
6. その他

資料①

日本分析化学会東北支部 2023 年度 第 1 回役員会 議事録（案）

日時 : 2023 年 3 月 6 日（土）13:30-14:30

形式：東北大学大学院理学研究科合同 C 棟多目的室

出席者： 壹岐、菊池、橋本、福山、和久井、野原、藤村、渡辺（健）、伊野、高貝、山田、渡辺（忠）、大江、大橋、岩田、井上、火原、照井、志村、熊谷、西澤、珠玖、猿渡、李、唐島田、佐藤（雄）、石川、橋本、松村、押手、加藤、遠藤、比嘉、幡川（34 名、順不同、敬称略）

*委任状が更に 10 名分存在し、役員会開催における定足数を満たした

議題

1. 前回役員会議事録確認

2022 年度第 3 回役員会の議事録を確認し、承認された。

1. 支部役員の退任・追加

三浦拓也氏（福島高専）の支部役員への追加が提案され、了承された。

2. 理事会、本部・支部連絡会議等報告

西澤前支部長より、2022 年度第 6 回理事会について、主として、2023 年 1 月末キャッシュフロー、2023 年度収支予算案、次年度会長・副会長・理事・監事候補者選出、日本分析化学会 HP 更新、第 83 回分析化学討論会準備状況、第 72 年会準備状況、第 73 年会準備状況、溶液界面研究懇談会解散、第 16 回 Asianalysis 2023 開催、2023 年度編集委員会、会員現況・入退会状況、日本学術会議への声明、および電子帳票保存法とインボイス制度への対応、について報告があった。

このうち、キャッシュフローについては現状 3,000 万円程度でありこれ以上会員数が減少しなければこのまま落ち着く見込みである旨報告があった。

2023 年度収支予算案については、東北支部のみがフロンティア・ラボ様からの寄附金収入がある旨説明がなされた。

第 83 回分析化学討論会に関しては、現在 400 名程度の参加登録があり、原則対面開催として準備が進められている旨説明がなされた。

第 72 回年会においては、講演分類が変更になる可能性がある旨注意がなされた。

第 73 回年会については、本部主催ではあるが会場が名工大となること、更に実行委員長が企業の方（安田純子様@コーセー）である旨説明がなされた。

第 16 回 Asianalysis 2023 の募集案内がなされた。

会員現況・入退会状況について説明がなされ、東北支部は 3 名の正会員ならびに 1 公益会員の退会があったこと、全体としても 2 特別会員ならびに 2 公益会員の退会があったことが報告された。これに対し、高貝先生ならびに火原先生より、退会した特別会員も公益会員も比較的規模が大きく本会にとっても大きな損失である、退会のきっかけとなった理由については聞いておくべき、との意見が出た。これに対し、西澤前支部長が、次回理事会にて発言機会があれば提言、無ければメールベースで提言する旨回答した。

日本学術会議の独立性維持を求める声明を学会もしくは理事会として出したい、という意見が理事会にて出ており、これに対し賛成・反対両意見が出ている現状について報告された。これに対し、火原先生より、個人的には声明を出すことに反対であること、反対意見を持つ会員が一定数いることが予想され、気づいたら声明が出ていたということが無いように会員に意向を伺う機会が必要である旨、発言があった。西澤支部長より、反対意見も出ていることからすぐに声明が出るものではないと理解しており、今回の火原先生からの意見を理事会に伝える旨回答があった。

3. 2022 年度事業報告

大江支部長より、2022 年度事業として、2022 年度役員選任、2022 年度化学系学協会東北大会（共催）、第 39 回無機・分析化学コロキウム（共催）、みちのく分析化学シンポジウム・分離機能とセンシング機能の化学セミナー、東北支部特別研究会「常識と限界を超え未来を切り拓く分析化学：馬場嘉信氏」、東北支部各賞講演会（東北分析化学賞：伊野浩介氏（東北大）。東北分析化学奨励賞：唐島田龍之介氏（東北大）、伊藤健太郎氏（東北大）、松枝誠氏（福島大））を実施し、更に、令和 4 年度東北支部助成金：「高糖度トマトの低ストレス栽培による果実成分の定量分析」（代表：大橋弘範氏（福島大））、「液体クロマトグラフィー/タンデム質量分析法による抗精神病薬血中濃度同時分析法の構築とファークロメトリクス法を用いた統合失調症の個別化薬物療法の開発」（代表：前川正充氏（東北大））を採択、研究紹介講演会を 12 月 17 日に開催した（会場：東北大学大学院理学研究科）ことを本部に報告した旨説明があった。なお、本役員会資料の役員一覧が 2023 年度版となっていたが、本部へは 2022 年度版の役員一覧を報告済である旨、説明があった。

4. 2022 年度会計報告

福山先生より、2022 年度の会計報告がなされた。

5. 2023 年度支部役員・委員等

大江支部長より、2023 年度支部役員および委員等について報告がなされた。

6. 2023 年度予算案

李先生より、2023 年度予算案について説明がなされた。

7. 2023 年度事業計画案

大江支部長より、主催事業として、令和 5 年度公益社団法人日本分析化学会東北支部助成金、みちのく分析科学シンポジウム、および分離機能とセンシング機能の化学セミナーの開催、共催事業として、2023 年度東北支部分析化学若手交流会、第 40 回無機・分析化学コロキウム、令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念大会、を開催する旨報告があった。

令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念大会に関して、西澤前支部長より、午前 2 時間（国際会議）、午後 2 時間（支部メンバーの研究紹介等）のセッションとなる予定である旨、報告があった。

以上

公益社団法人日本分析化学会
2023 年度第 3 回理事会議事予定

日 時 2023 年 7 月 3 日（月）14:00～17:00（予定）

場 所 Web 会議

出席者

出席予定理事：大谷 肇，山本博之，保倉明子，手嶋紀雄，江坂幸宏，平山直紀，
小澤岳昌，渡慶次学，大江知行，安田純子，倉光英樹，山本雅博，朝日 剛，
井原敏博，早下隆士，松浦義和，本田俊哉，加地範匡，水口仁志，津越敬寿，
上野祐子，吉田裕美，柿田和俊

出席予定監事：田中俊逸，宮野 博

議長：大谷 肇

事務局：三浦隆志，高島章子

前回理事会で決議されたように，理事会開催の冒頭で，会長より永年勤続者表彰を行います。

三浦隆志さん（30 年勤続）

佐藤 慈さん（20 年勤続）の両名を，理事会へ Web 招待いたしますので，ご了解ください。

議 題

【承認事項】（審議事項を含む）

【前回議事録の承認】

4 月 26 日に開催された 2023 年度第 2 回理事会議事録の内容確認

資料 1

【本部活動】【組織運営】山本筆頭副会長

1) 6 月末キャッシュフロー（当日共有）

5 月末キャッシュフロー

資料 2

2) 第 1 四半期会計報告

資料 3-1, 3-2

3) 役員等候補者選考委員候補者

資料 4

4) 規程類の改定について

①細則

資料 5

②役員等の選出手順要領

資料 6

③会費に関する規則

資料 7

④若手交流会規程

資料 8

⑤年会・討論会準備資金貸付規程

資料 9

⑥「分析化学」論文賞規程

資料 10

⑦職員就業規則

資料 11

5) 役員職務分担 修正版	資料 12
【広報事業】【会員管理】平山副会長	
1) ホームページ更新	口頭
2) 会員・広報関連委員会名簿	資料 13
3) 会員現況・入退会状況	資料 24
【学会会合事業】手嶋副会長	
1) 第 83 回分析化学討論会報告 (含 会計速報)	資料 14
2) 第 72 年会準備状況	資料 15
3) 第 84 回分析化学討論会報告 (含 予算)	資料 23
4) 年会・討論会について	口頭
5) 他学協会からの協賛等名義申請	資料 25
【出版事業】【表彰事業】保倉副会長	
1) 2023 年度学会賞等受賞候補者	資料 16
2) 『改訂七版 分析化学便覧』編集委員会	資料 17
3) 「ぶんせき」誌冊子体に関する提案書	資料 18
4) Analytical Sciences 編集委員会必要経費	資料 19
5) 女性 Analyst 賞規程と内規	資料 20
【社会活動】江坂副会長	
1) 第 33 回基礎および最新の分析化学講習会講演ビデオの再利用に 関する許可願	資料 21
2) 産官学連携委員会について	口頭
【報告事項】	
【その他】	
1) インボイス制度・電子帳票保存制度対応状況	資料 22

以上

公益社団法人 日本分析化学会
2023 年度第 2 回理事会議事録（案）

日 時 2023 年 4 月 26 日（水）16:30～18:00

場 所 当法人主たる事務所（東京都品川区西五反田 1 丁目 26 番 2 号五反田サンハイツ内）

出席者

出席理事（2023 年度）：山本博之，保倉明子，早下隆士，柿田和俊，以下 Web
出席者 大谷 肇，手嶋紀雄，江坂幸弘，平山直紀，渡慶次学，大江知行，
安田純子，倉光英樹，山本雅博，朝日 剛，井原敏博，小澤岳昌，本田俊哉，
加地範匡，水口仁志，津越敬寿，（以上，理事現在数 23 名のうち 20 名が出席）
欠席理事：松浦義和，上野祐子，吉田裕美（以上，3 名が欠席）

出席監事：宮野 博，以下 Web 出席者 田中俊逸（以上，監事現在数 2 名のうち 2 名が出席）

出席旧理事：石濱 泰，藤浪真紀，以下 Web 出席者 西澤精一，栗原 誠，
村松康司，中山雅晴，黒田直敬

出席旧監事：金澤秀子

オブザーバー出席：Web 出席 遠田浩司

事務局：三浦隆志

議 題

【承認事項】（審議事項を含む）

【前回議事録の承認】

3 月 30 日に開催された第 1 回理事会の議事録の内容確認 資料 1

3 月 30 日に開催された 2023 年度第 1 回理事会の議事録の内容確認の結果，
全会一致で承認した。

【本部活動】 石濱（2022 年度）／山本（2023 年度）筆頭副会長

1) 2023 年度会長・副会長・業務執行理事の選定 資料 2, 3

定款第 26 条第 2 項により，会長，副会長及び常務理事は理事会の決議によっ
て理事の中から選定されることが資料 2 により説明され，本理事会に先立って
行われた第 12 回定時総会において選任された理事の中から，資料 3 に基づき

会長（代表理事） 大谷 肇

を選定することを全会一致で承認した。また，大谷肇は席上，その就任を承諾し
た。

（1）副会長 山本博之，手嶋紀雄，江坂幸宏，平山直紀，
重任理事より保倉明子（金子明子）を選定することを全会一致

で承認した。

(2) 定款第 26 条第 3 項に基づき、会長をもって代表理事とし、副会長、常務理事が業務執行理事となることが資料 2 により説明されるとともに、同第 4 項に基づき小澤理事を業務執行理事とすることが資料 3 により提案され、全会一致でこれを承認した。

2) 2023 年度筆頭副会長の承認 資料 3

山本博之副会長が筆頭副会長に指名され、全会一致でこれを承認した。

3) 2023 年度各理事の業務分担の調整 資料 4

資料 4 に基づき役員の業務分担案が説明され、全会一致で承認した。

4) 2023 年度理事会および企画戦略会議の日程調整 資料 5

第 3 回理事会は 7 月 3 日（月）14 時、第 2 回企画戦略会議を 6 月 23 日（金）14 時、以下その後の日程について説明され、全会一致で承認した。

【組織運営】山本筆頭副会長

1) 本部現預金残高 資料 6

柿田業務執行理事より、現預金残高の推移について、昨年に比較して良好な推移を示していることが説明されたが、グラフの凡例が一部欠けていることが指摘されたので、修正のうえ再配布することとし、全会一致で承認した。

2) 正職員の夏季賞与について 資料 7

柿田業務執行理事より、学会財政状況が回復傾向であることを鑑み、2023 年度夏季賞与については、支給率をカットせずに、本年の人事院勧告どおりに支給することが提案され、提案通り全会一致で承認した。

3) 正職員の褒賞について 資料 8

柿田業務執行理事より、職員の永年勤続の表彰について説明があり、記念品の支給方法については現金支給として理事会承認後の給与と一緒に支給すること、表彰は次回理事会にて行うことを確認し、全会一致で承認した。

4) 職員就業規則の一部改訂について 資料 9

柿田業務執行理事より、病気休暇から復職する際の取り決めに伴う、就業規則の改訂の説明があった。

5) 在宅勤務に関する申し合わせの制定について 資料 10

柿田業務執行理事より、在宅勤務に関する申し合わせを制定する件について、経緯と内容の説明があった。前項の就業規則改訂とともに、職員との協議をした後、改めて理事会に諮ることとした。なお、規則中の文言の修正や、休日出勤の際の代休と振替休日の設定について意見が出され、今回の改訂作業に合わせて修正していくこととした。

【出版事業】【表彰事業】保倉副会長

1) 「分析化学」論文賞審査結果

資料 11

保倉業務執行理事より、2022 年「分析化学」論文賞として、2 件の論文が選考されたことが報告され、全会一致で承認した。

【学術会合事業】手嶋副会長

1) 第 83 回分析討論会準備状況

資料 12

遠田実行委員長より、第 83 回分析化学討論会の準備状況が報告された。富山大学での対面の開催と同時に、口頭発表のストリーミング配信も行うこと、実行委員会の開催状況、参加登録者数は 570 名から 600 名に増えていること、講演申込件数 405 件等の情報が報告された。また、若手ポスター賞の審査方法・告知方法については、種々意見が交わされた。準備状況の報告について、全会一致で承認した。

2) 他学協会からの協賛等名義申請

資料 13

大谷業務執行理事より、他学協会からの協賛等申請リストが報告され、全会一致で承認した。

【広報事業】【会員管理】平山副会長

1) 会員現況・入退会状況

資料 14

藤浪業務執行理事より、会員の入退会状況の資料が説明され、全会一致で承認した。

【報告事項】

【表彰事業】保倉副会長

保倉業務執行理事より、学会賞等審査委員会、学会功労賞・技術功績賞審査委員会、先端分析技術賞審査委員会、女性 Analyst 賞審査委員会が、いずれも 5 月中に開催される予定であることが報告された。

【その他】

1) 業務引継ぎ及び退任役員の挨拶（申し送り）

退任する理事から申し送り事項、退任の挨拶をいただき、大谷会長から新任の挨拶をいただいた。

2) 近畿支部より、特定預金の目的外使用に関する規程の質問があったので、該当する規程を後日送付することとした。

以上で議案の審議等を終了し、18 時に議長（会長）は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、会長及び出席した監事がここに記名押印する。

公益社団法人 日本分析化学会 現預金残高状況

資料2

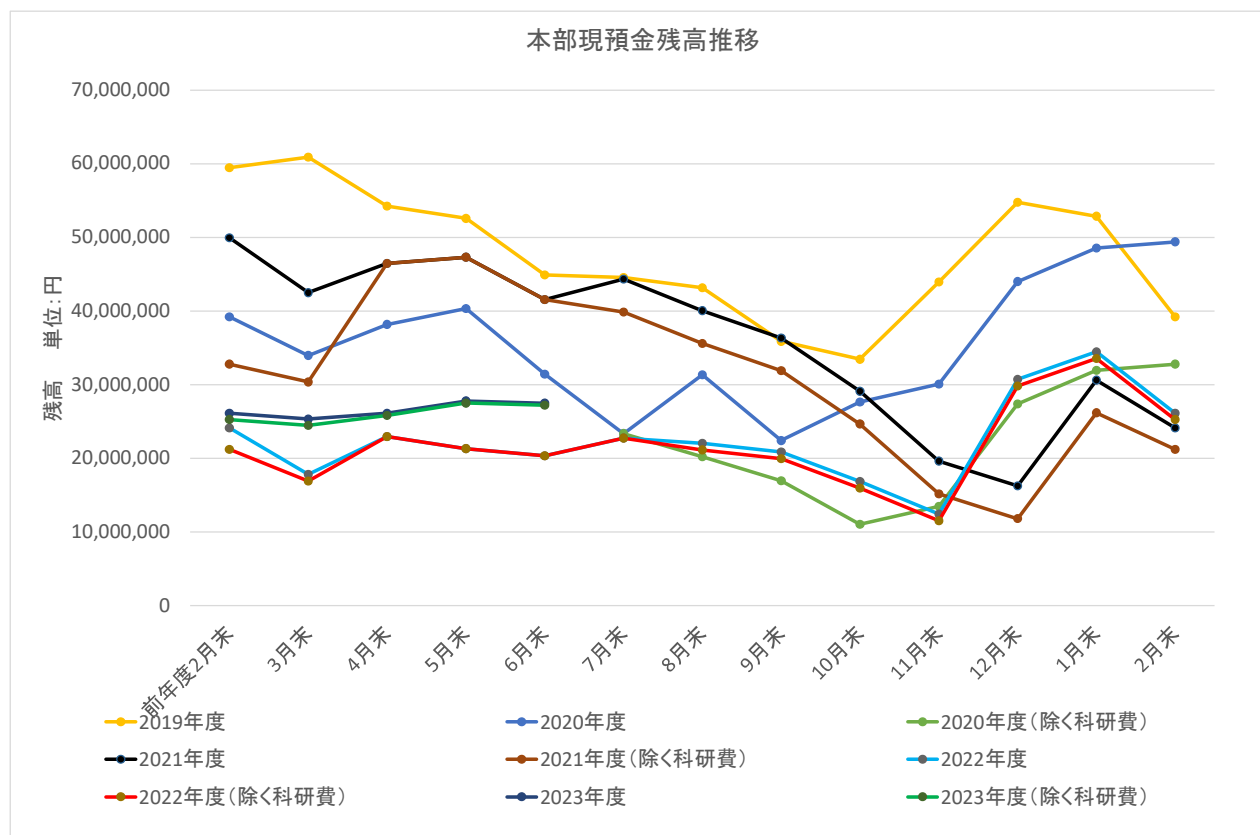
	前年度2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末
2019年度	59,471,027	60,913,769	54,240,614	52,597,552	44,925,903	44,573,765	43,165,584	35,891,270	33,461,752	43,973,496	54,776,067	52,879,062	39,237,522
2020年度	39,237,522	33,980,948	38,198,349	40,334,225	31,438,723	23,364,028	31,359,639	22,423,511	27,648,899	30,083,290	44,006,244	48,551,086	49,399,466
2020年度(除<科研費>)						23,364,028	20,209,639	16,978,951	11,054,339	13,488,730	27,411,684	31,956,526	32,804,906
2021年度	49,961,966	42,510,725	46,463,192	47,318,688	41,577,131	44,336,124	40,054,889	36,362,996	29,120,668	19,637,129	16,261,498	30,634,052	24,120,918
2021年度(除<科研費>)	32,804,906	30,366,175	46,463,192	47,318,688	41,577,131	39,886,124	35,604,889	31,912,996	24,670,668	15,187,129	11,811,498	26,184,052	21,232,414
2022年度	24,120,918	17,819,622	22,964,531	21,331,493	20,342,244	22,754,136	22,047,500	20,878,501	16,872,351	12,425,669	30,719,033	34,466,929	26,145,938
2022年度(除<科研費>)	21,232,414	16,914,363	22,964,531	21,331,493	20,342,244	22,754,136	21,142,241	19,973,242	15,967,092	11,520,410	29,813,774	33,561,670	25,292,639
2023年度	26,145,938	25,333,811	26,119,530	27,803,544	27,511,982								
2023年度(除<科研費>)	25,292,639	24,480,512	25,828,771	27,512,785	27,221,223								

2021-07-14
4,450,000

2022-02-24 2022-03-29 2022-04-30
科研費 2,888,504 905,259 0
2022-04-30
290,759

2022年8月
再入金 905,259

2023年2月
資金移動 853,299



正味財産増減計算書（税込）

資料3-1

令和 4年 3月 1日から令和 4年 5月31日まで			令和 5年 3月 1日から令和 5年 5月31日まで				
公益社団法人 日本分析化学会			公益社団法人 日本分析化学会				
本部合計			本部合計			2023-2022	2023/2022
科 目	残 高		科 目	残 高		増 減	増 減
I 一般正味財産増減の部			I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部			1. 経常増減の部				
(1) 経常収益			(1) 経常収益				
基本財産運用益	0		基本財産運用益	0		0	
基本財産受利息	0		基本財産受利息	0		0	
特定資産運用益	146		特定資産運用益	380		234	
退職給付引当資	0		退職給付引当資	0		0	
標準物質開発基	0		標準物質開発基	0		0	
国際交流事業基	0		国際交流事業基	0		0	
研究奨励基金	146		研究奨励基金	380		234	
分析技術教育基	0		分析技術教育基	0		0	
預り保証金	0		預り保証金	0		0	
受取入金金	28,000		受取入金金	24,000		-4,000	86%
受取入金金	28,000		受取入金金	24,000		-4,000	86%
受取会費	47,618,450		受取会費	49,254,830		1,636,380	103%
正会員受取会費	19,059,500		正会員受取会費	18,450,000		-609,500	97%
学生会員受取会費	830,250		学生会員受取会費	1,032,750		202,500	124%
維持会員受取会費	9,456,300		維持会員受取会費	11,195,100		1,738,800	118%
特別会員受取会費	13,407,000		特別会員受取会費	12,810,000		-597,000	96%
公益会員受取会費	4,865,400		公益会員受取会費	5,766,980		901,580	119%
事業収益	12,284,830		事業収益	16,398,717		4,113,887	133%
購読料収入	2,923,711		購読料収入	3,021,900		98,189	103%
年会収入	0		年会収入	0		0	
討論会収入	0		討論会収入	0		0	
講演会収入	0		講演会収入	0		0	
講習会収入	0		講習会収入	0		0	
研究懇談会収入	0		研究懇談会収入	0		0	
技能試験収入	0		技能試験収入	412,500		412,500	
分析士事業収入	0		分析士事業収入	0		0	
印税収入	180,377		印税収入	18,982		-161,395	
教材頒布収入	55,000		教材頒布収入	26,950		-28,050	
標準物質収入	3,637,590		標準物質収入	6,345,350		2,707,760	174%
広告料収入	3,368,750		広告料収入	2,760,450		-608,300	82%
別刷頒布収入	2,109,722		別刷頒布収入	1,259,665		-850,057	60%
複写権使用収入	9,680		複写権使用収入	10,560		880	109%
受取内部助成金	0		受取内部助成金	2,542,360		2,542,360	資料3-2参照
受取補助金等	0		受取補助金等	0		0	
受取国庫補助金	0		受取国庫補助金	0		0	
受取民間補助金	0		受取民間補助金	0		0	
受託収入	0		受託収入	0		0	
受取補助金振替	0		受取補助金振替	0		0	
受取寄付金	0		受取寄付金	0		0	
受取寄付金	0		受取寄付金	0		0	
募金収益	0		募金収益	0		0	
受取寄付金振替	0		受取寄付金振替	0		0	
雑収益	64,740		雑収益	39,802		-24,938	61%
受取利息収入	8,330		受取利息収入	6,960		-1,370	84%
雑収入	56,410		雑収入	32,842		-23,568	58%
経常収益計	59,996,166		経常収益計	65,717,729		5,721,563	110%

(2) 経常費用		(2) 経常費用		
事業費	15,858,021	事業費	16,299,602	441,581 103%
給与手当	0	給与手当	0	0 管理費に含む
臨時雇賃金	0	臨時雇賃金	0	0 管理費に含む
退職給付費用	0	退職給付費用	0	0 管理費に含む
法定福利費	0	法定福利費	0	0 管理費に含む
福利厚生費	0	福利厚生費	0	0 管理費に含む
会議費	0	会議費	0	0
旅費交通費	2,517	旅費交通費	563,040	560,523 22369%
通信運搬費	45,848	通信運搬費	28,673	-17,175 63%
減価償却費	0	減価償却費	0	0
消耗品費	0	消耗品費	0	0
修繕費	0	修繕費	0	0
印刷製本費	6,308,421	印刷製本費	5,592,066	-716,355 89%
光熱水料費	0	光熱水料費	0	0
賃借料(リース除)	0	賃借料(リース除)	46,200	46,200
支払リース料	0	支払リース料	0	0
支払保険料	0	支払保険料	0	0
諸謝金	143,500	諸謝金	151,000	7,500 105%
租税公課	0	租税公課	0	0
支払負担金	14,800	支払負担金	10,000	-4,800 68%
支払助成金	0	支払助成金	0	0
内部支払助成金	3,850,100	内部支払助成金	6,250,260	2,400,160 162%
支払寄付金	0	支払寄付金	0	0
本部事務委託費	0	本部事務委託費	0	0
委託費	5,490,855	委託費	3,630,423	-1,860,432 66%
表彰費	0	表彰費	0	0
雑費	1,980	雑費	27,940	25,960
管理費	14,560,217	管理費	15,032,143	471,926 103%
給与手当	5,849,892	給与手当	5,952,136	102,244 102%
臨時雇賃金	1,858,000	臨時雇賃金	1,793,600	-64,400 97%
退職給付費用	0	退職給付費用	0	0
法定福利費	1,051,056	法定福利費	1,070,034	18,978 102%
福利厚生費	0	福利厚生費	280,000	280,000
会議費	0	会議費	0	0
旅費交通費	328,955	旅費交通費	299,526	-29,429 91%
通信運搬費	362,703	通信運搬費	387,323	24,620 107%
減価償却費	0	減価償却費	0	0
消耗品費	88,950	消耗品費	84,289	-4,661 95%
修繕費	326,700	修繕費	415,800	89,100 127%
印刷製本費	0	印刷製本費	0	0
光熱水料費	48,369	光熱水料費	72,001	23,632 149%
賃借料(リース除)	107,107	賃借料(リース除)	164,296	57,189 153%
支払リース料	1,047,310	支払リース料	1,088,230	40,920 104%
支払保険料	0	支払保険料	0	0
諸謝金	0	諸謝金	0	0
租税公課	3,800	租税公課	1,250	-2,550 33%
支払負担金	161,214	支払負担金	197,091	35,877 122%
支払助成金	0	支払助成金	0	0
内部支払助成金	0	内部支払助成金	0	0
支払寄付金	0	支払寄付金	0	0
本部事務委託費	0	本部事務委託費	0	0
委託費	3,295,581	委託費	3,139,247	-156,334 95%
表彰費	0	表彰費	0	0
雑費	30,580	雑費	87,320	56,740 3
経常費用計	30,418,238	経常費用計	31,331,745	913,507 103%
評価損益調整前当期増減額	29,577,928	評価損益調整前当期増減額	34,385,984	4,808,056 116%
当期経常増減額	29,577,928	当期経常増減額	34,385,984	4,808,056 116%
2. 経常外増減の部		2. 経常外増減の部		
経常外収益計	0	経常外収益計	0	0
(2) 経常外費用		(2) 経常外費用		0
経常外費用計	0	経常外費用計	0	0
当期経常外増減額	0	当期経常外増減額	0	0
他会計振替額	0	他会計振替額	0	0
当期一般正味財産増減額	29,577,928	当期一般正味財産増減額	34,385,984	4,808,056 116%
一般正味財産期首残高	107,932,582	一般正味財産期首残高	99,145,417	-8,787,165 92%
一般正味財産期末残高	137,510,510	一般正味財産期末残高	133,531,401	-3,979,109 97%
II 指定正味財産増減の部		II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	指定正味財産期末残高	0	0
III 正味財産期末残高	137,510,510	III 正味財産期末残高	133,531,401	-3,979,109 97%

2023年度第1四半期の正味財産増減計算書の概要

資料3-2

(2022年度第1四半期との比較)

- 収入は10%の増加で、支出は3%の増加。このため、対前年比収支じり（収益）は16%増加した。
- 収入の部
 - 受取会費 昨年度5月に比して3%増加であるが、以前の傾向値に比して約5百万円少ない。受取会費減少が大きいので検討が必要。
 - 項「受取会費と会員数の推移」を参照。
 - 事業費収入は 33%増加だが、関東支部人件費と支部補助金の相殺分があるため実質的には概略11%の増加（下表3-2-1参照）。標準物質収入の74%増加は、中国向けマグネシウム標準物質、韓国向けダイオキシン標準物質の出荷増。広告料収入18%、別刷収入（分析化学）44%の減少。

表3-2-1

事業収益の部の主な項目				税込 単位：円
科目	2022年度	2023年度	2023-2022	2023/2022
事業収益	12,284,830	16,398,717	4,113,887	133.49
購読料収入	2,775,211	3,021,900	246,689	108.89
分析化学	1,552,500	1,470,000	-82,500	94.69
英文誌	1,160,600	1,484,700	324,100	127.93
標準物質収入	3,637,590	6,345,350	2,707,760	174.44
広告料収入	3,368,750	2,760,450	-608,300	81.94
ぶんせき	3,307,150	2,760,450	-546,700	83.47
別刷頒布収入	2,258,222	1,259,665	-998,557	55.78
分析化学	1,920,412	1,151,315	-769,097	59.95
実質的な収入（概略） a	12,039,773	13,387,365	1,347,592	111.19
関東支部人件費の相殺分 b	0	2,277,300	2,277,300	
a + b	12,039,773	15,664,665	3,624,892	130.11

- 支出の部
 - 事業費・管理費ともに3%、合わせて91万円の増加である。

事業費

旅費交通費（科研費関連編集委員会）56万円増、印刷製本費（分析化学、科研費関連）60万円減（下表3-2-2参照）、

関東支部人件費 227万円増、冊子（分析化学、科研費関連）委託費 241万円減、標準物質委託費 63万円増。（計46万円増）

管理費 （計47万円増）

表3-2-2

印刷製本費			税込 単位：円	単位：%
科目	2022年度	2023年度	2023-2022	2023/2022
印刷製本費	6,199,521	5,592,066	-607,455	90
ぶんせき	964,666	1,179,442	214,776	122
分析化学	1,239,424	742,081	-497,343	60
英文誌	3,132,756	3,581,003	448,247	114
標準物質	85,195	89,540	4,345	105
技能試験	81,235	0	-81,235	0
A S 科研費	696,245	0	-696,245	0
注：英文誌印刷費（Springer Nature社へ支払い）（税抜き）				
USD（契約額）／年	EUR／年	EUR／年		
70	63.16	67.26		1.065
	円／EUR	円／EUR		
	136.64	146.47		1.072
	円／年	円／年		
	8,630	9,852		
計画時（2021年）			1.28	倍
USD（契約額）／年	円／USD			
70	110	7,700		

- 受取会費と会員数の推移について
 - 5月時点の受取会費全体(A)の対前年度比は昨年度77%だったが、今年は103%で前年を上回っている。
 - 受取会費全体(A)は毎年平均3%の減少が続いていたが、昨年度は減少幅が大きく、現在その傾向値よりさらに約5百万円の減少となっている。

受取会費と会員数の推移

5月末での受取会費

年度	2018	2019	対前年度比	2020	対前年度比	2021	対前年度比	2022	対前年度比	2023	対前年度比
受 取 会 費 計A	70,361,850	68,453,550	97%	64,749,750	95%	61,536,950	95%	47,618,450	77%	49,254,830	103%
正会員受取会費	30,109,500	28,794,500	96%	27,935,000	97%	27,180,000	97%	19,059,500	70%	18,450,000	97%
学生会員受会費	1,311,750	1,433,250	109%	1,308,250	91%	1,238,750	95%	830,250	67%	1,032,750	124%
維持会員受会費	15,082,200	14,587,000	97%	13,845,300	95%	13,486,200	97%	10,653,300	79%	11,195,100	105%
特別会員受会費	15,060,000	15,510,000	103%	15,030,000	97%	14,520,000	97%	12,210,000	84%	12,810,000	105%
公益会員受会費	8,798,400	8,128,800	92%	6,631,200	82%	5,112,000	77%	4,865,400	95%	5,766,980	119%

年度末（翌年2月）での受取会費

年度	2018	2019	対前年度比	2020	対前年度比	2021	対前年度比	2022	対前年度比	2023	対前年度比
受 取 会 費 計A	76,543,950	73,175,250	96%	72,457,050	99%	67,632,800	93%	63,568,600	94%		
受 取 会 費 計B	84,064,734	80,555,534	96%	79,842,830	99%	75,684,536	95%	70,150,111	93%		
正会員受取会費	31,689,000	29,789,000	94%	29,510,000	99%	28,267,500	96%	24,865,000	88%		
学生会員受会費	1,991,250	2,108,250	106%	1,807,750	86%	1,803,500	100%	1,782,000	99%		
維持会員受会費	16,398,900	16,103,200	98%	15,760,500	98%	15,082,200	96%	14,523,600	96%		
特別会員受会費	15,780,000	16,110,000	102%	15,810,000	98%	15,510,000	98%	14,550,000	94%		
公益会員受会費	10,684,800	9,064,800	85%	9,568,800	106%	6,969,600	73%	7,848,000	113%		
支部研究受会費	7,520,784	7,380,284	98%	7,385,780	100%	8,051,736	109%	6,581,511	82%		

受 取 会 費 計A 支部研究受会費を含まない。

受 取 会 費 計B 支部研究受会費を含む。

会員数 その年の2月末の数字

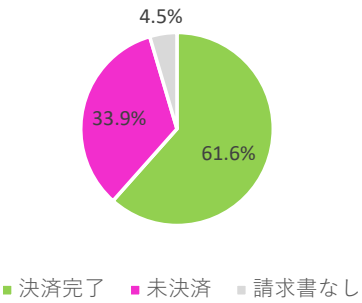
年	2018	2019	対前年度比	2020	対前年度比	2021	対前年度比	2022	対前年度比	2023	対前年度比
会 員 数	5,506	5,295	96%	5,075	96%	4,884	96%	4,727	97%	4,654	98%
正会員数	3,928	3,776	96%	3,628	96%	3,531	97%	3,249	92%	3,143	97%
学生会員数	472	429	91%	382	89%	314	82%	464	148%	514	111%
維持会員数	207	201	97%	198	99%	193	98%	182	94%	182	100%
特別会員数	540	542	100%	539	99%	524	97%	519	99%	511	98%
公益会員数	359	347	97%	328	95%	322	98%	313	97%	304	97%

SMOOSYデータ 2023-06-12現在

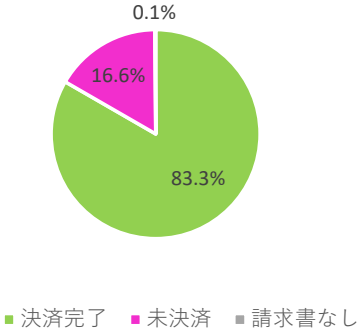
	個人会員	
会員数	4,286	
決済完了	2,640	61.6%
未決済	1,451	33.9%
請求書なし	195	4.5%

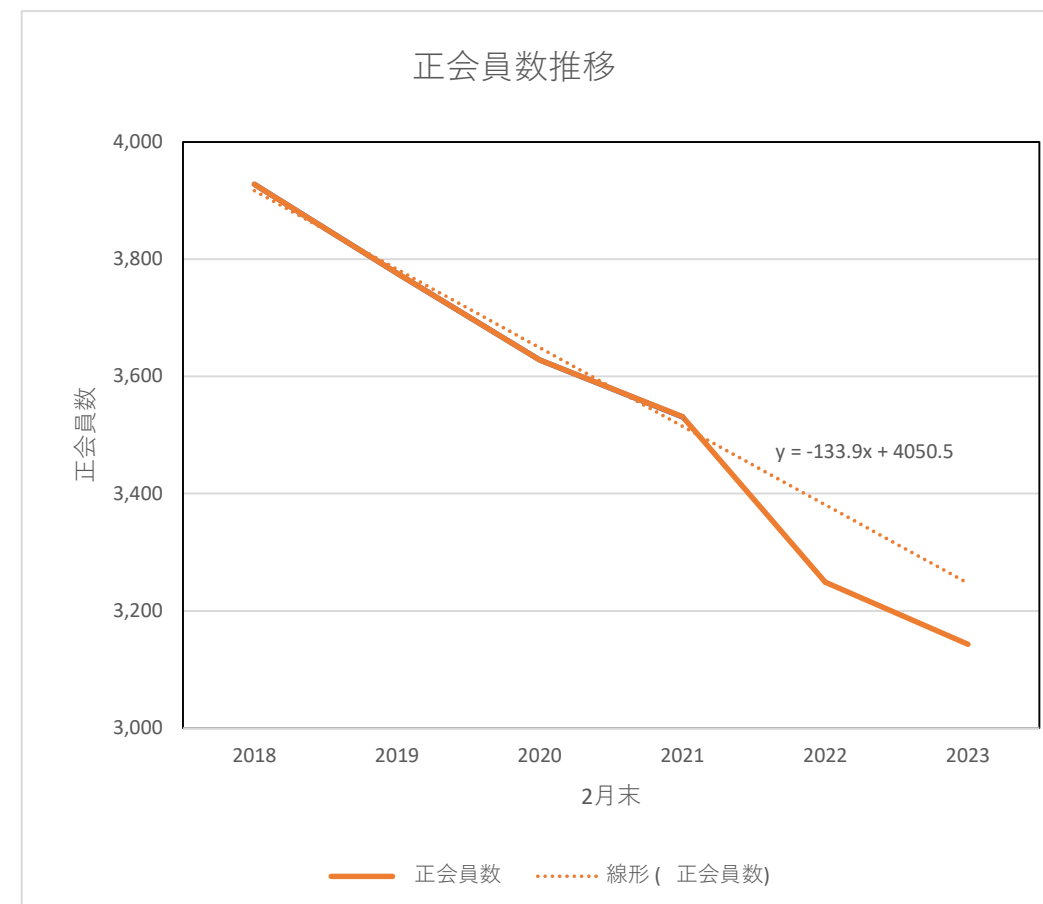
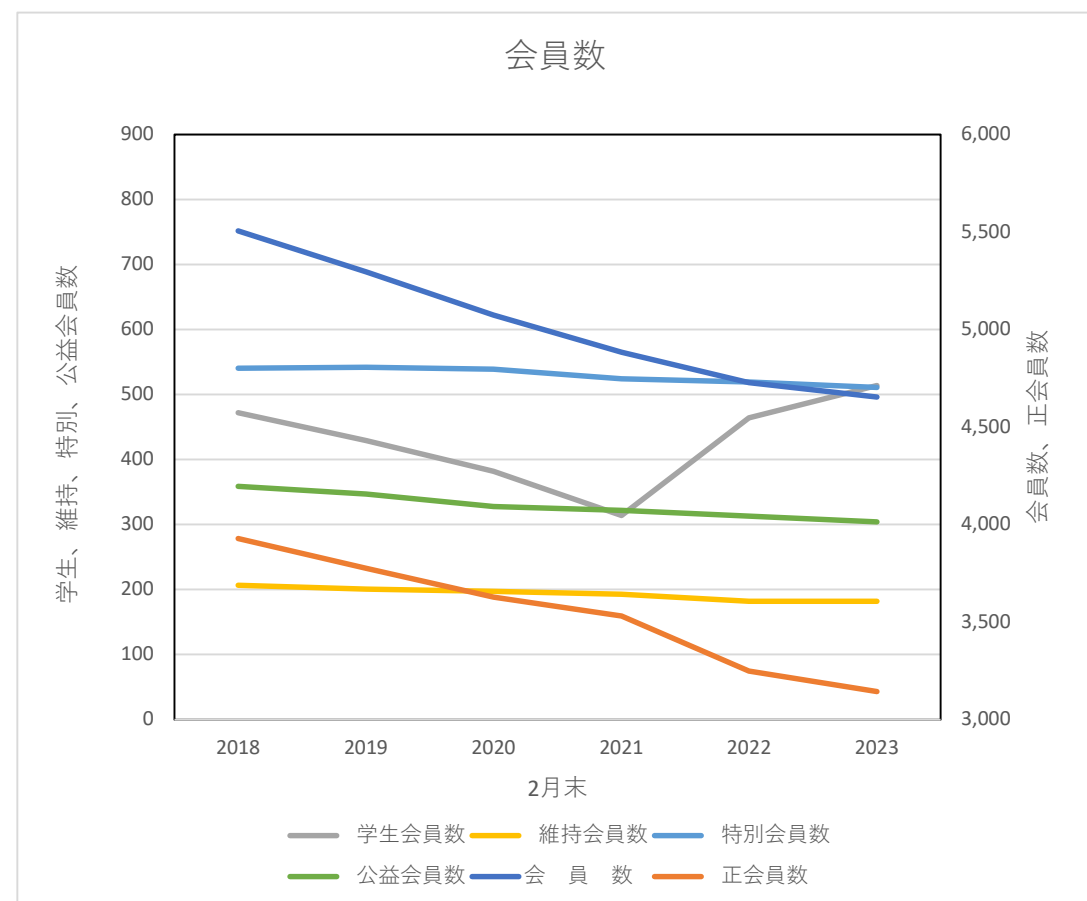
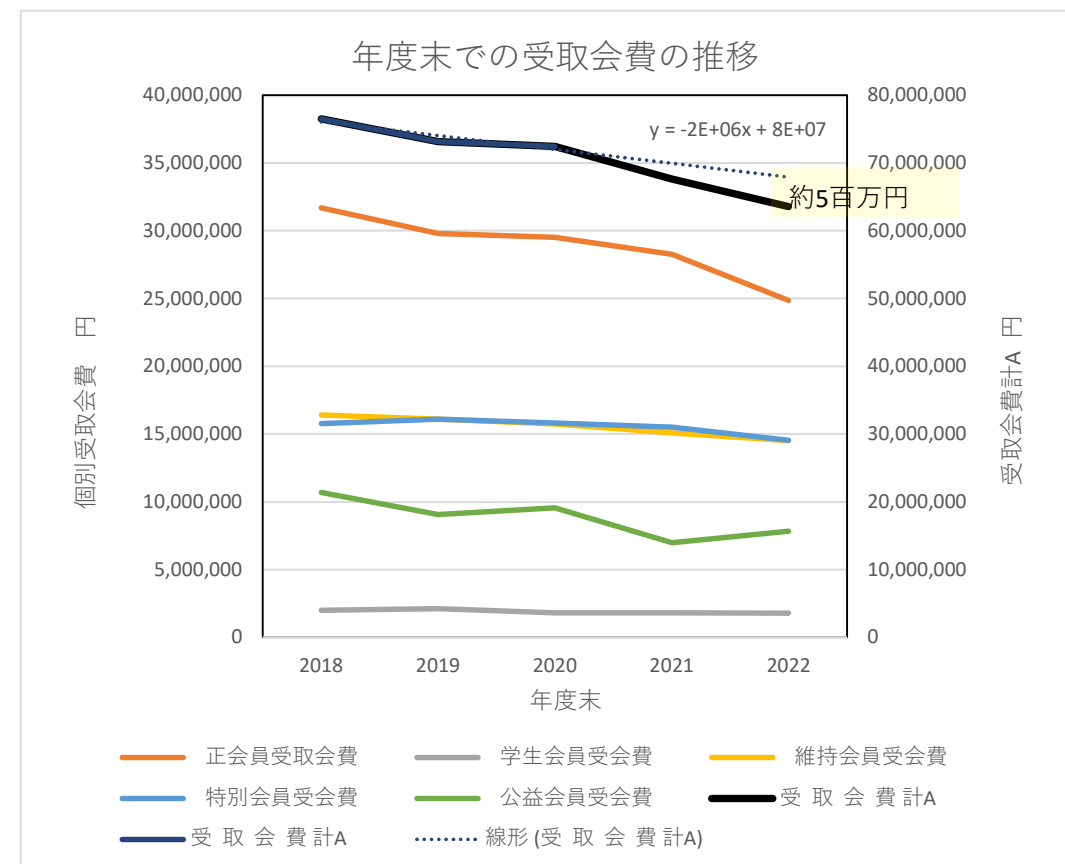
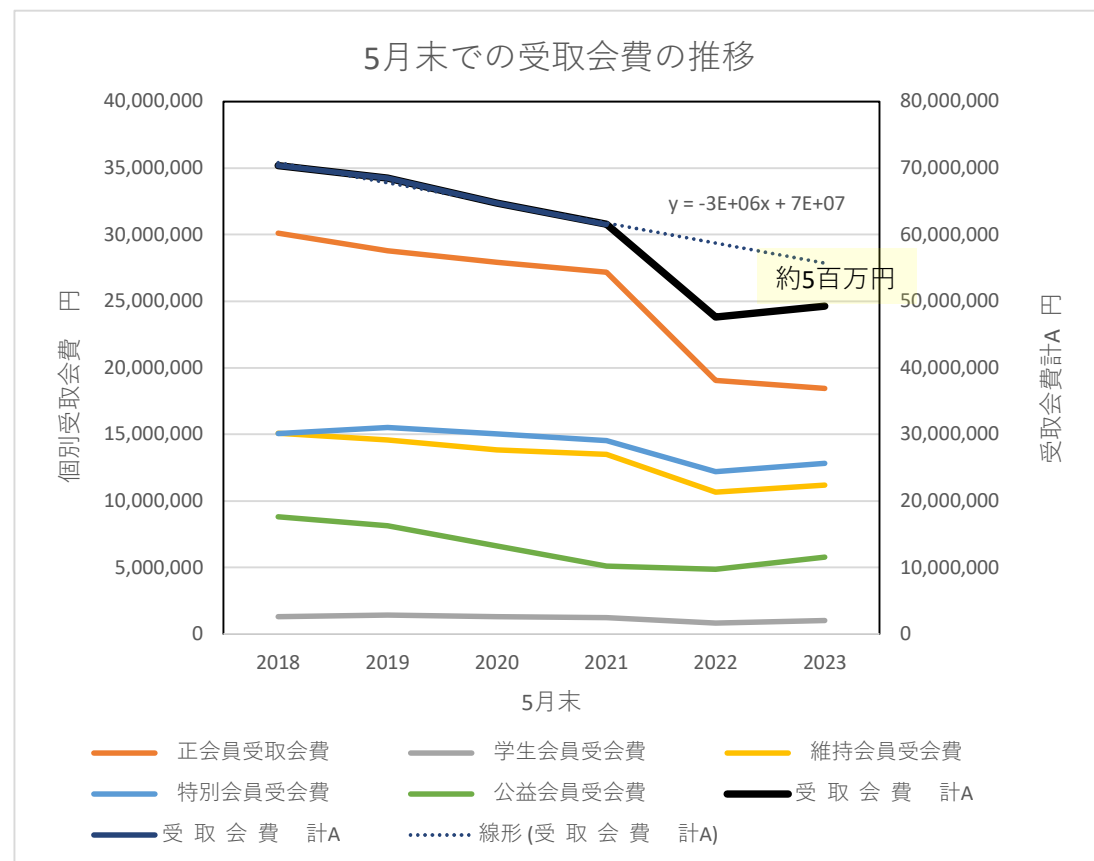
	法人会員	
会員数	953	
決済完了	794	83.3%
未決済	158	16.6%
請求書なし	1	0.1%

個人会員



法人会員





2023年度役員等候補者選考委員 兼 委嘱状(案)

資料4

支 部	氏 名	所 属
北海道	上野 貢生	北海道大学大学院理学研究院
	谷 博文	北海道大学大学院工学研究院
東 北	西澤 精一	東北大学大学院理学研究科
	仲川 清隆	東北大学大学院農学研究科
関 東	豊田 太郎	東京大学大学院総合文化研究科
	上原 伸夫	宇都宮大学工学部
	齋藤 伸吾	埼玉大学大学院理工学研究科
	会田 秀樹	東京都産業労働局
	東海林 敦	東京薬科大学薬学部
	菅沼 こと	帝人(株)
	鈴木 康志	(株)島津製作所
	林 英男	東京都立産業技術研究センター
	宮下 隆	キューピー(株)
中 部	安井 孝志	名古屋工業大学大学院工学研究科
	水野 初	名城大学薬学部
	柴田 信行	名古屋市工業研究所
近 畿	宗林 由樹	京都大学化学研究所
	森内 隆代	大阪工業大学工学部
	藤嶽 暢英	神戸大学大学院農学研究科
	萩森 政頼	武庫川女子大学薬学部
	石切山 一彦	(株)東レリサーチセンター
中国四国	石坂 昌司	広島大学大学院先進理工系科学研究科
	中山 雅晴	山口大学大学院創成科学研究科
九 州	高椋 利幸	佐賀大学理工学部
	黒田 直敬	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

2023年度の上記委員をお願い致したく、ここに委嘱申し上げます。

2023年7月3日

公益社団法人日本分析化学会
会長 大谷 肇

註:個人宛委嘱状が必要な場合は、事務局までお問い合わせください。

公益社団法人日本分析化学会 会費等に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、定款第6条に定める会員が支払う入会金及び年会費に関する必要事項を定め、それによって公益社団法人日本分析化学会（以下「学会」という）の事業活動に経常的に生じる費用に充てるための収入を安定的に確保することを目的とする。

(入会金及び会費)

第2条 入会金及び定款第10条に定める年会費は、次に掲げるところによる。

(1) 正会員

入会金 1,000 円

年会費 9,000 円

(2) 維持会員

入会金 0 円

年会費 79,800 円

(3) 教育会員

入会金 0 円

年会費 4,500 円

(4) 学生会員

入会金 0 円

年会費 4,500 円

(5) ジュニア会員

入会金 0 円

年会費 0 円

(6) 特別会員

入会金 0 円

年会費 30,000 円

(7) 公益会員

入会金 0 円

年会費 28,800 円

(8) シニア会員

入会金 0 円

一括会費 下表による（年齢は前年の12月31日時点での満年齢）

年齢	一括会費納付額
満 58 歳	79,000 円
満 59 歳	72,000 円
満 60 歳	65,000 円
満 61 歳	58,000 円
満 62 歳	51,000 円
満 63 歳	44,000 円
満 64 歳	37,000 円
満 65 歳	30,000 円
満 66 歳	23,000 円
満 67 歳	16,000 円
満 68 歳以上	9,000 円

- 2 正会員のうち、名誉会員並びに永年会員は年会費の納入を必要としない。
- 3 現に学生会員である者が引き続き正会員となる場合は、入会金を必要としない。
- 4 事業年度の途中で入会した会員のその事業年度の年会費は理事会の決議によってこれを減免することができる。
- 5 年会費は当該事業年度の 1 月から 12 月分とする。

(年会費等の納入)

第 3 条 学会に入会した会員は、入会決定通知を受けた日から 30 日以内に、入会金及び年会費を本会所定の方法により納入しなければならない。

2 年会費は、毎年 10 月 1 日以降 12 月末日までに次年分（1 月～12 月）を納めるものとする。ただし、会員からの希望がある場合には、その期間に限定しない。

若 手 交 流 会 規 程

改訂案

(名称)

1. 本交流会は、公益社団法人日本分析化学会若手交流会と称する。

(目的)

2. 本交流会は、支部間を超えた若手分析化学研究者の連絡交流に基づく連携強化と若手の活性化を図ることを目的とする。

(活動)

3. 本交流会は、前項の目的を達成するために次の活動を行う。
 - ① 日本分析化学会の年会・討論会付設の若手シンポジウム等を担当する支部若手の会を支援する。
 - ② メーリングリストやホームページを通して、分析化学に関する情報交換を行うと共に各支部間の若手の連携を深める。
 - ③ その他、目的に沿った活動を企画する。

(構成員と組織)

4. 本交流会は各支部若手の会の本部組織であり、各支部若手の会に所属する分析化学会会員によって構成される。
5. 各支部若手の会で決められた若手交流会幹事を委員とする幹事会を設ける。幹事の決め方は各支部若手の会に一任する。
6. 幹事の中から代表者（幹事会委員長）1名を選び、本部との連絡、会計管理等を行う。委員長の任期は2年とする。

(運営)

7. 本交流会の企画並びに運営は、幹事会の合議により行う。
8. 本交流会の活動は、~~若手交流会基金~~と各支部若手の会に交付された補助金により行う。本交流会を通して、支部若手の会に年間補助金総額36万円を交付する。年間補助金は前年度から繰り越された補助金を含む。

~~(若手交流会基金)~~

9. ~~「分析21世紀基金」の剰余および本交流会の活動に必要と認められた補助金等を「若手交流会基金」とする。~~
10. ~~「若手交流会基金」の管理は若手交流会幹事会が行う。~~

(規則の変更)

11. 本規程の改訂は、幹事会の議を経て行い、理事会の承認を必要とする。

付則 この規程は2001年3月1日から施行する。

2001年9月14日理事会承認

2023年7月3日案 一部改訂

会員管理委員会・広報委員会および各小委員会委員案

会員管理委員会（任期 2023. 7. 1-2024. 6. 30）

委員長 平山 直紀（役職指定：担当副会長，東邦大理）
 副委員長 山本 博之（役職指定：筆頭副会長，量研機構）
 委員 小澤 岳昌（役職指定：庶務主務理事，東大院理）
 委員 松浦 義和（役職指定：会計主務理事，日本分析機器工業会）
 委員 上野 祐子（中央大理工）
 委員 江坂 幸宏（東京電機大）
 委員 手嶋 紀雄（愛知工大）
 委員 保倉 明子（東京電機大）
 委員 吉田 裕美（京都工繊大院工芸）
 委員 柿田 和俊（役職指定：事務局長）
 委員 三浦 隆志（役職指定：総務課長）

広報委員会（任期 2023. 7. 1-2024. 6. 30）

委員長 東海林 敦（東京薬科大）
 委員 上野 祐子（中央大理工）
 委員 鈴木 保任（金沢工大）
 委員 谷合 哲行（千葉工大工）
 委員・担当理事 平山 直紀（東邦大理）
 委員 保倉 明子（東京電機大）
 委員 吉田 裕美（京都工繊大院工芸）

HP 小委員会（任期 2023. 7. 1-2024. 6. 30）

委員長 谷合 哲行（千葉工大）
 委員 東海林 敦（東京薬科大）
 委員 鈴木 保任（金沢工大）
 委員・担当理事 平山 直紀（東邦大理）
 委員 吉田 裕美（京都工繊大院工芸）

メルマガジン小委員会（任期 2023. 7. 1-2024. 6. 30）

委員長 平山 直紀（本会メルマガ担当，東邦大理）
 副委員長 手嶋 紀雄（年会・分析化学討論会担当副会長，愛知工大）
 委員 谷合 哲行（学会 HP 小委員会委員長，千葉工大）
 委員 津越 敬寿（ぶんせきメルマガ担当，産総研）
 委員 加地 範匡（Anal. Sci. メルマガ担当，九大院工）
 委員 水口 仁志（分析化学メルマガ担当，徳島大理工）

「展望とトピックス」小委員会（任期 2023. 7. 1-2025. 6. 30）

委員長 平山 直紀（東邦大理）
副委員長 荒井 健介（日本薬大）
副委員長 保倉 明子（東京電機大）
委員 井原 敏博（熊本大）
委員 久保埜公二（大阪教育大）
委員 鈴木 仁（東京都健康安全研究セ）
委員 林 英男（都産技研セ）
委員 薮谷 智規（愛媛大）
委員 山口 央（茨城大）
委員 山本 政宏（TOTO）
委員 横山 拓史（元 九大）
委員 吉田 裕美（京都工繊大院工芸）

会員現況並びに入・退会資料

(2023 年 7 月 3 日現在)

会 員 現 況

総計： 5,175

区 分	名 誉	永 年	正	学 生	維 持	特 別	公益
前回理事会	53	334	3,120	536	182	498	299
入 会			49	119			
退 会			10	5			1
死 亡			1				
除 名							
資格変更			-13	13			
復 活			2				
口数変更							
7 月 3 日	53	334	3,147	663	182	498	298

前回総計： 5,022

前年 6 月総計： 5,294

会 員 数 の 推 移 (2019 年 2 月以降)

年 月 日	名誉	永年	正	学生	維持	特別	公益	計
2019.2.18	50	291	3,776	429	200.5	542	347	5,635.5
12.17	52	330	3,642	303	197.5	534	329	5,387.5
2020.2.18	52	330	3,628	382	197.5	539	328	5,456.5
12.10	51	342	3,572	258	194.5	524	324	5,265.5
2021.2.18	51	341	3,531	314	192.5	524	322	5,275.5
5.14	51	339	3,510	353	185	516	315	5,269
8.10	51	337	3,520	504	186	521	314	5,433
10.19	51	316	3,316	480	186	520	314	5,183
12.14	51	312	3,367	388	185	519	313	5,135
2022.2.22	50	311	3,249	464	182	519	313	5,088
4.13	50	310	3,249	456	182	515	307	5,069
6.29	49	322	3,287	628	183	517	308	5,294
10.11	49	322	3,061	615	183	515	306	5,051
12.13	48	320	3,183	408	182	512	304	4,957
2023.2.22	48	320	3,143	514	182	511	304	5,022
3.30	48	320	3,142	524	182	500	296	5,012
4.26	53	334	3,120	536	182	498	299	5,022
7.3	53	334	3,147	663	182	498	298	5,175

会 員 の 入 ・ 退 会

[○印学生会員, *印論文誌購読者, △印英文誌購読者, () 内は紹介者]

《正・学生会員入会申込》

【北海道支部】学生会員 5 名

○秋葉 千明	北海道大学総合化学院	(上野 貢生)
○加藤 朗	北海道大学総合化学院	(上野 貢生)
○齋藤 瞭汰	北海道大学総合化学院	(柿田 和俊)
○福壽 洋人	北見工業大学大学院工学研究科	(宇都 正幸)
○保木 良介	北見工業大学大学院工学研究科	(宇都 正幸)

【東北支部】正会員 3 名, 学生会員 9 名

大和田 慎	福島県警察本部科学捜査研究所	(柿田 和俊)
ショケイティ パイルザ	フロンティア・ラボ(株)	(渡辺 壱)
渡邊 良太	宮城県警察科学捜査研究所	(柿田 和俊)
○岩下 彩夏	福島大学大学院共生システム理工学研究科	(柿田 和俊)
○大濱 康平	東北大学大学院環境科学研究科	(柿田 和俊)
○北村 朝	東北大学大学院理学研究科	(柿田 和俊)
○進藤 なな帆	東北大学大学院環境科学研究科	(柿田 和俊)
○田渡 琉音	福島大学大学院共生システム理工学研究科	(柿田 和俊)
○中原 幹	東北大学大学院環境科学研究科	(柿田 和俊)
○韓 天雪	東北大学大学院理学研究科	(柿田 和俊)
○ビャムバドルジ アナラ	福島大学大学院共生システム理工学研究科	(柿田 和俊)
○山崎 友裕	東北大学大学院理学研究科	(佐藤 雄介)

【関東支部】正会員 22 名, 学生会員 48 名

石田 正紀	高エネルギー加速器研究機構共通基盤研究施設	(柿田 和俊)
伊藤 隆行	富士フイルム(株)	(柿田 和俊)
入井 友海太	LG Japan Lab(株)	(柿田 和俊)
岡本 千奈	(国研)産業技術総合研究所計量標準総合センター	(山崎 太一)
奥田 祐樹	日本大学文理学部	(柿田 和俊)
数井 優子	科学警察研究所法科学第三部	(宮口 一)
川並 園実	日本製鉄(株)技術開発本部	(柿田 和俊)
喜田 樹里	(株)東芝	(柿田 和俊)
窪田 梓	日本電子(株)	(柿田 和俊)
桑原 直子	新潟薬科大学応用生命科学部	(柿田 和俊)
佐野 喜成	三井金属鉱業(株)基礎評価研究所	(柿田 和俊)
白石 和輝	日本製鉄(株)先端技術研究所	(柿田 和俊)
梶山 卓郎	富士フイルム(株)	(柿田 和俊)
祖父江 ゆき香		(柿田 和俊)
高橋 洋平	(株)資生堂	(柿田 和俊)
中島 圭一	日本パーカライジング(株)	(柿田 和俊)
濱田 尚樹	(一社)日本分析機器工業会	(柿田 和俊)
平松 幸之助	(一財)日本食品検査	(柿田 和俊)
松岡 伊織	警察庁科学警察研究所	(笠松 正昭)
松下 裕亮	警察庁科学警察研究所	(宮口 一)
本川 正規	ジーエルサイエンス(株)	(柿田 和俊)
吉川 徳信	(株)資生堂	(柿田 和俊)
○飯田 大耀	東洋大学大学院生命科学研究科	(柿田 和俊)
○飯塚 汐奈	群馬大学大学院理工学府	(柿田 和俊)
○井野 喜康	千葉大学大学院融合理工学府	(柿田 和俊)
○井上 健登	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科	(柿田 和俊)
○遠藤 彩音	山梨大学大学院医工農学総合教育部	(久保田 恒喜)
○遠藤 真海	中央大学理工学研究科	(柿田 和俊)
○小井川 奈々	千葉大学工学部	(内山 茂久)
○王 子寧	東洋大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○大代 晃平	東京大学生産技術研究所	(柿田 和俊)
○落合 陽香	東京薬科大学大学院生命科学研究科	(熊田 英峰)
○海谷 美里	群馬大学大学院理工学府	(柿田 和俊)
○加藤 舜人	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科	(柿田 和俊)
○兼子 綺人	中央大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○木島 里緒	中央大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)

○北谷 菜津美	東京薬科大学薬学研究科	(柿田 和俊)
○久保 穂乃佳	群馬大学大学院理工学府	(柿田 和俊)
○河野 七穂	群馬大学大学院理工学府	(柿田 和俊)
○小島 吉智	茨城大学大学院理工学研究科	(山口 央)
○近藤 大輔	山梨大学大学院医工農学総合教育部	(植田 郁生)
○佐藤 泉美	東邦大学大学院理学研究科	(平山 直紀)
○鹿間 祐希	中央大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○杉山 友祐	東京電機大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○鈴木 彩夏	群馬大学大学院理工学府	(柿田 和俊)
○鈴木 輝	慶應義塾大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○谷藤 遥平	慶應義塾大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○寺田 凌大	日本大学生産工学部	(柿田 和俊)
○中澤 礼香	東京都市大学大学院総合理工学研究科	(江場 宏美)
○長野 高明	日本大学大学院生産工学研究科	(柿田 和俊)
○中村 好花	東京薬科大学大学院薬学研究科	(柿田 和俊)
○野出 航平	中央大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○長谷川 慧	宇都宮大学工学部	(柿田 和俊)
○蜂須賀 穂	長岡技術科学大学工学専攻	(柿田 和俊)
○林部 瑞季	山梨大学大学院医工農学総合教育部	(柿田 和俊)
○平田 将隆	横浜国立大学環境情報学府	(柿田 和俊)
○廣瀬 颯太	東京都立大学大学院都市環境科学研究科	(柿田 和俊)
○堀田 拓希	東邦大学大学院理学研究科	(平山 直紀)
○道振 佑依子	日本大学大学院総合基礎科学研究科	(柿田 和俊)
○光永パウロまさゆき	日本大学生産工学部	(柿田 和俊)
○矢ヶ崎 文雄	日本大学大学院理工学研究科	(吉川 賢治)
○山路 周	東京工業大学工学院	(柿田 和俊)
○柚木 勇人	神奈川大学大学院理学研究科	(西本 右子)
○横田 和樹	埼玉大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○吉田 直樹	日本大学大学院生産工学研究科	(柿田 和俊)
○Liu Zhenghan	東洋大学大学院生命科学研究科	(柿田 和俊)
○若林 宏斗	千葉大学大学院融合理工学府	(柿田 和俊)
○渡辺 翔太	早稲田大学大学院先進理工学部	(柿田 和俊)
○渡辺 真生	東邦大学大学院理学研究科	(柿田 和俊)
○割石 智子	日本大学大学院総合基礎科学研究科	(桑原 正靖)

【中部支部】正会員 4 名，学生会員 9 名		
池田 貴将	浜松ホトニクス(株)豊岡製作所	(柿田 和俊)
尾関 優香	三菱ケミカル(株)分析物性愛知グループ	(柿田 和俊)
立石 一希	三重大学国際環境教育研究センター	(柿田 和俊)
吉満 円香	(株)メニコン分析評価部	(柿田 和俊)
○井垣 侑生	中部大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○石川 朱里	金沢大学自然科学研究科	(柿田 和俊)
○酒井 玲奈	名古屋工業大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○坂下 裕季	金沢大学大学院自然科学研究科	(柿田 和俊)
○須賀 春日	名古屋工業大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○高田 夏帆	金沢大学大学院自然科学研究科	(柿田 和俊)
○田邊 重	中部大学工学部	(宮内 俊幸)
○松原 華咲	名古屋工業大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○山崎 友輔	名古屋工業大学工学部	(柿田 和俊)

【近畿支部】正会員 14 名，学生会員 14 名		
金田 恭介		(柿田 和俊)
斎藤 恵美	味の素バイオフィーマサービス(株)	(南海 浩一)
佐藤 彩夏	(株)島津製作所基盤技術研究所	(柿田 和俊)
山渡 翔太	(株)堀場製作所	(柿田 和俊)
ジャンティマニー ナッタボン	大阪公立大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
外間 進悟	京都工芸繊維大学	(前田 耕治)
谷口 咲子	(株)村田製作所	(柿田 和俊)
谷口 舞	(株)東レリサーチセンター	(柿田 和俊)
中尾 隆美	(株)島津製作所分析計測事業部	(柿田 和俊)
比企 祐美	サントリーホールディングス(株)	(柿田 和俊)
堀 翼	(株)SCREEN セミコンダクターソリューションズ	(柿田 和俊)
本田 千恵	武庫川女子大学バイオサイエンス研究所	(萩中 淳)
松崎 英樹	シスメックス(株)テクノロジーイノベーション本部	(柿田 和俊)
渡邊 慎平	(国研)理化学研究所	(瀬戸 康雄)
○青山 陽太	大阪工業大学工学部	(森内 隆代)

○荒木 泰介	京都大学大学院理学研究科	(長谷川 健)
○安茂 千晴	甲南大学大学院自然科学研究科	(山本 雅博)
○石飛 さら	和歌山大学大学院システム工学研究科	(中原 佳夫)
○稲葉 恵梨佳	甲南大学理学部	(茶山 健二)
○浦田 泰成	大阪公立大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○江口 瑠	兵庫県立大学大学院理学研究科	(柿田 和俊)
○大石 康喜	関西大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○大西 政宏	大阪工業大学工学部	(森内 隆代)
○角谷 智貴	大阪工業大学工学部	(森内 隆代)
○高木 佳祐	同志社大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○田中 優仁	大阪公立大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○田中 凌	龍谷大学大学院理工学研究科	(藤原 学)
○山名 雄大	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科	(岩崎 凌)

【中国四国支部】正会員 3 名, 学生会員 9 名

金子 雅子	住友金属鉱山(株)技術本部	(柿田 和俊)
中野 雅比古	(株)東ソー分析センター	(柿田 和俊)
濱脇 亮次	広島県立総合技術研究所保健環境センター	(柿田 和俊)
○旭 隼佑	岡山大学大学院環境生命自然科学研究科	(柿田 和俊)
○オルベモ セラセ ケベデ	徳島大学大学院薬学研究科	(田中 秀治)
○加藤 銀次郎	松山大学大学院医療薬学研究科	(柿田 和俊)
○鷹谷 有彩	岡山大学大学院環境生命自然科学研究科	(金田 隆)
○田中 優稀	愛媛大学理学部	(柿田 和俊)
○陳 楊	岡山大学大学院自然科学研究科	(柿田 和俊)
○出口 由菜	山口大学大学院創生科学研究科	(柿田 和俊)
○野本 明日香	徳島大学大学院創成科学研究科	(野本 明日香)
○平松 優希菜	島根大学大学院自然科学研究科	(石垣 美歌)

【九州支部】正会員 3 名, 学生会員 25 名

安慶名 顕栄	沖縄県警察本部刑事部	(柿田 和俊)
王 胖胖	(公財)九州先端科学技術研究所	(吉原 大輔)
佐野 勇気	(一財)日本食品検査福岡検査所	(柿田 和俊)
○今村 太陽	九州大学生物資源環境科学府	(松井 利郎)
○大穂 佑月	鹿児島大学化学生命工学プログラム	(柿田 和俊)
○小田 京香	九州大学大学院薬学府	(柿田 和俊)
○小柳出 麻衣	九州大学大学院薬学府	(柿田 和俊)
○何 魁恩	九州大学理学部	(柿田 和俊)
○柏木 凜太郎	長崎大学医師薬学総合研究科	(黒田 直敬)
○梶原 雅喜	九州工業大学情報工学府	(末田 慎二)
○鬼頭 壮一郎	琉球大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○黒田 晃大	九州大学大学院システム生命科学府	(柿田 和俊)
○佐々木 魁斗	佐賀大学理工学部	(高椋 利幸)
○サリ サイマリンド	佐賀大学大学院工学系研究科	(柿田 和俊)
○田代 峻	九州工業大学情報工学府	(末田 慎二)
○谷口 琴	鹿児島大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○千々岩 風音	熊本大学大学院自然科学教育部	(柿田 和俊)
○知念 夢乃	琉球大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○富丸 和希	九州大学総合理工学府	(柿田 和俊)
○豊永 瑞季	鹿児島大学大学院理工学研究科	(柿田 和俊)
○橋詰 満衣	宮崎大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○橋本 大輔	鹿児島大学理学部	(柿田 和俊)
○古川 美紅	宮崎大学大学院工学研究科	(柿田 和俊)
○安田 朱花	鹿児島大学理工学研究科	(新留 康郎)
○山下 愛斗	九州大学理学部	(柿田 和俊)
○山田 裕葉	九州工業大学情報工学府	(末田 慎二)
○山田 萌乃	佐賀大学理工学部	(高椋 利幸)
○劉 卓非	九州大学生物資源環境科学府	(松井 利郎)

《正会員死亡》

早川 慎二郎

広島大学

〔中国四国支部〕

《個人会員退会申込》

【北海道支部】正会員 1 名

加藤 孝次 新酸素化学(株)

【東北支部】正会員 1 名, 学生会員 1 名

鈴木 達也 WDB(株)
○畑中 優作 東北大学

【関東支部】正会員 5 名, 学生会員 2 名

小松 弘幸 筑波大学大学院数理物質科学研究群
佐藤 仁 (株)精糖工業会館
田村 隆夫 ジーエルサイエンス(株)
永村 直佳 (国研)物質・材料研究機構
半澤 有希子 (国研)日本原子力研究開発機構
○岩佐 光起 千葉大学大学院融合理工学府
○吉川 裕貴 新潟大学大学院自然科学研究科

【中部支部】学生会員 2 名

○池戸 祐太郎 富山大学大学院理工学教育部
○石田 菜央 富山大学

【近畿支部】正会員 1 名

荒木 直樹

【九州支部】正会員 1 名

満尾 良弘 日鉄テクノロジー(株)八幡事業所

《公益会員退会申込》

800649

高知工科大学図書館

〔中国四国支部〕

第 72 年会 準備状況

実行委員長 戸田 敬（熊本大学）

1. 講演申込状況

投稿が完了していない講演が多数見られたため、講演申込み締切を当初の6月7日から2日間延長し、6月9日とした。最終的には、669件の講演申込みがあった。翌6月10日（土）に実行委員会を開催し、プログラムの大枠を決定した。（詳細は別紙参照）

6月20日（火）現在の参加登録者数：718名（名誉会員などを含む）

各支部において積極的な参加登録の呼びかけをお願いする。

※事前参加登録のオンライン決済：7月1日（土）～8月30日（水）。

2. 実施形態

対面で実施する。懇親会についても、立食形式で実施する。

3. プログラム作成

6月20日現在、プログラムの編成を進めている。7月4日に、Confit小委員会の津越先生、平山先生にお越しいただいて、全体の構成を確認したのち、座長の依頼を進めていく。

なお、6月30日に、セッションスケジュールは公開予定。（6月20日現在）

4. 若手ポスター賞について

若手ポスターの講演申込みは、216件であった。ポスター講演は2日目午前に実施する。このセッションにおいて講演件数の10%を目安にポスター賞「大阿蘇若手ポスター賞」を授与する。ポスター賞については賞状のみとし、副賞は出さない。受賞者の発表は、2日目の午後に受付およびwebにて発表する。また、3日目の昼休み前にポスター賞受賞者を表彰する。審査基準（案）は別添を参照。

日本分析化学会 年会 開催概況 (2017～2023)

2023.6.23現在

		2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017
	年会	72年会	71年会	70年会	69年会	68年会	67年会	66年会
	会場	熊本城ホール	岡山大	神戸大 オンライン	名古屋工大 オンライン	千葉大	東北大	東理大
参加者数								
予約	会員	349	563	355	296	495	529	511
	学生会員	332	305	275	188	252	264	250
	会員外	7	78	34	25	52	81	48
	学生会員外	1	10	1	9	7	12	7
	その他	11						
通常	会員		42	108	94	180	140	228
	学生会員		7	30	40	84	43	84
	会員外		18	15	18	46	48	59
	学生会員外		3		2	3	3	5
参加者数	合計	720	1026	818	672	1119	1120	1192
発表件数	一般口頭	247	264	212	173	263	262	259
	一般ポスター	141	97	55	43	105	141	107
	若手ポスター	216	181	184	113	211	173	209
	シンポジウム	19			35	55	53	
	テクノレビュー	1	5	1	5		4	
	研究懇談会	23	22	15	13			
	産業界シンポジウム		6					
	産官学交流カフェ	7	5					
	受賞講演	15	15	14	17	19	20	
	合計	669	595	481	399	653	653	575
懇親会	予約 一般	116	213			165	205	174
	予約 学生	35	28			12	30	31
	当日 一般	名誉：35	14			45	52	53
	当日 学生	他：～10	1			5	3	6
懇親会	合計	191	256	～100 オンライン	無し	227	290	264
広告	プログラム集	8.5	11					
	展示	20	15	5		28	21	19
	書籍展示		3			1	2	1
	カタログ展示					2	2	5
	ランチョン	6	7	5(企業セミナー)		8	6	7
	バナー	6	8	10				

(72年会) シンポジウム・関連イベント

シンポジウム

1. 分析化学反応場における酸と塩基 ～酸・塩基の定義から100年～

オーガナイザー

高椋利幸（佐賀大），梅木辰也（佐賀大），神崎 亮（鹿児島大），吉田亨次（福岡大）

概要

ブレンステッド，ローリー，ルイスが提唱した「酸」「塩基」は，分析化学に関わる反応を理解する礎である．本シンポジウムでは，その定義提唱から100年を記念し，反応場として溶液化学が関係する講演を企画しました．

依頼講演（4件）

城田秀明（千葉大）「ヨウ素を含む高導電性深共晶溶媒」

持田智行（神戸大）「金属錯体で創る多彩な機能性液体」

牧野貴至（産総研東北）「塩基性イオン液体とCO₂の化学反応」

勝田正一（千葉大）「抽出溶媒としてのプロトン性イオン液体の特性」

2. バイオ界面の分析化学

オーガナイザー

松田直樹（産総研），安川智之（兵庫県大）

概要

バイオ分野において種々の界面が重要な分析対象になっている。光利用、電気化学等の分析手法、界面を利用する現象や反応、及び界面の表面修飾方法や応用等に関する研究発表を募りました。

依頼講演（5件）

田中 賢（九州大）「バイオ界面における水分子の役割の解明－中間水コンセプトによる生体親和性表面の設計－」

渡慶次学（北海道大）「機能性脂質ナノ粒子の創製と応用」

有馬祐介（九州大）「材料－細胞，細胞－細胞間相互作用の解析と制御」

弓場英司（大阪府大）「機能性高分子の表面修飾による免疫細胞標的型脂質ナノ粒子の作製」

末松誠（慶応大）「イメージングメタボロミクスによるがん代謝システム解析と医学応用」

3. 医薬領域の進歩に貢献する分析化学

オーガナイザー

浜瀬健司（九州大），巴山 忠（福岡大）

概要

医薬領域における創薬、診断、治療などの研究推進には、医薬品を含む機能性分子やバイオマーカーの正確な定量が不可欠である。本シンポジウムでは生体関連分子の分析技術開発並びに応用研究の講演を企画しました。

依頼講演（5件）

岸川直哉（長崎大）「光を駆使する分析法」

前川正充（東北大）「LC/MS/MSを用いた疾患バイオマーカーの同定と性能評価に関する研究」

杉山栄二（静岡県大）「キラル分子のエナンチオ選択的イメージングを可能とする誘導体化法の開発」

金尾英佑（京都大）「生体関連微粒子のためのスポンジ状高分子分離プラットフォームの開発」

石井千晴（九州大）「加齢性疾患におけるキラルアミノ酸の含量変化と多次元LCによるスクリーニング法開発」

4. ポストコロナに向けた分析化学

オーガナイザー

竹中繁織（九工大），佐藤しのぶ（九工大）

概要

新型コロナの世界的なパンデミックによってウイルス検査の重要性が高まってきた。今後もウイルスの検査技術の発展には分析化学が重要となってくる。ここでは将来を見据えた関連技術の発表を依頼しました。

依頼講演（5件）

桑原正靖（日本大）「等温核酸増幅法における増幅因子」

杉本直己（甲南大）「Nucleic Acids Research in the post-Covid-19 Era」

勝田陽介（熊本大）「Next コロナを踏まえた抗ウイルス薬の開発」

佐藤しのぶ（九工大）「SERS-CoV-2 の電気化学的検出法の開発」
熊谷英郷（島津製作所）「検体直接 PCR 技術と PCR 検査の留意点」

産官学交流カフェ

趣旨

日本分析化学会では、分析化学の多様性を活かし、産・官・学のニーズとシーズをマッチングする場を提供し、連携を加速させ、科学・技術における分析化学の重要性や魅力を発信する役割をめざしています。そのために、産業界や官学の研究者・技術者の交流を進めるきっかけとなる産官学交流カフェを、2019年の千葉年会（第68年会）、昨年の岡山年会（第71年会）に引き続き第72年会においても実施します。今回は、産業界、国公立機関、大学から「環境・エネルギー」に関わるニーズやシーズをご紹介いただき、その直後に交流の場を設けることで、意見交換やマッチングをはかりたいと考えています。

主催 日本分析化学会第72年会実行委員会

日時 9月13日（水）16:00～18:00

会場 熊本城ホール 3階 年会E会場

講演 （16:00～17:00）

「地熱発電の導入拡大に向けた硫化水素測定の効率化の取組」

岡田 真秀（東北緑化環境保全株式会社）

「地球環境保全に向けた果菜類生産システム」

細川隆史（富士フイルム（株） 解析技術センター）

「重工系企業の環境・エネルギー製品への分析化学からのアプローチ」

藤井秀治（三菱重工業（株）総合研究所）

「海洋鉱物資源開発の環境影響評価に向けた海水微量金属分析」

山岡香子（産業技術総合研究所）

「プラスチックリサイクル高度化で活用される光学識別技術」

河済博文（九州先端科学技術研究所）

「九州大学のCO₂分離利用技術のご紹介」

星野 友（九州大学）

「熱分解GC/MSによる大気マイクロプラスチックの分析」

水口仁志（徳島大学）

「プラスチックリサイクル高度化で活用される光学識別技術」

河済博文（九州先端科学技術研究所）

ミキサー（17:00～18:00）

ご挨拶 大谷 肇 会長（名工大）

乾杯 江坂幸宏 副会長（岐阜薬科大）

締めのご挨拶 早下隆士 前会長（上智大学）

女性研究者ネットワーク

主催 女性研究者ネットワーク・第72年会実行委員会

日時 9月15日（金）12:15～13:00

場所 熊本城ホール 3階 B1会場

講演 稲田 幹（九州大）

担当 高橋幸奈（九州大），吉田裕美（京都工芸繊維大）

詳細は、<https://fsnac.jsac.jp/>をご確認ください

ものづくり技術交流会

主催 分析イノベーション交流会実行委員会，（公社）日本分析化学会九州支部

日時 9月14日（木） 9:30～14:30

場所 熊本城ホール 3階 T会場（B1～B3 連結） 9:30～14:30

実行委員長 豊田太郎（東京大），副実行委員長 東海林敦（東京薬科大）

生涯分析談話会

主催 生涯分析談話会

協賛 LC 研究懇談会

日時 9月13日（金）16:00～17:00

会場 熊本城ホール 3階 A2会場

趣旨

生涯分析談話会は、日本分析化学会（JSAC）会員で定年退職された方々と現役のシニアの方々が中心となり、定年後の再出発や趣味の道に活力をもって生き生きと過ごし、JSACの発展に資するために組織されました。日本分析化学会第59年会の初日（2010年9月15日、東北大学）にその第1回を開催して以来、毎年、同年会の初日に開催して参りました。第9回は第78回分析化学討論会（山口大学常盤キャンパス）の前日（2018年5月25日）に開催し、それ

以来、年に2回（分析化学討論会前日と分析化学会年会初日）開催地区の重鎮の先生方に講演をお願いし、情報交換会を開催して参加者の親睦を図っております。

さて、今年の熊本年会初日に予定される生涯分析談話会は、記念すべき第20回目を迎えます。下記の要領で開催致しますので、奮ってご参加下さる様、宜しくお願い致します。

なお、未定の部分は決まり次第、お知らせ致します。

生涯分析談話会会長：中村 洋

記念講演

「まだあるアスベストどうする「災害・解体時の廃棄建材中の石綿の検出・分析法」」

田端正明（佐賀大学名誉教授・特任教授）

情報交換会

日時 9月13日（金）18時から

会場 未定

申込先 田端正明（E-mail: tabatam@cc.saga-u.ac.jp）

第 84 回分析化学討論会 討論主題案（実行委員会提案） ver.5

2023.6.29

実行委員長 前田耕治

<討論主題の考え方>

本討論会では講演分類を分析対象で分けるため、討論主題はいずれかの講演分類になじみのある会場に配置して、依頼講演だけのシンポジウムにはならないように、一般講演との共存を図り、討論を活性化するものとして位置付ける。ただし、学会の役割の一つとして、市民に開かれた公開講演会に位置付ける場合は、一般講演と合同にするかどうかは検討する。

A. 「文化財をはかる、なおす、まもる分析化学」 市民公開講座（19 日（日）午後）

歴史的な資料、絵画や考古物などの文化財を後世に引き継ぐことは我々の任務である。そのような保存（まもる）のためには、文化財を知り（はかる）、損傷があれば適正に修復（なおす）することが求められる。2023 年には文化庁が京都に移転したこともあり、文化財の保存や修復に関して分析化学がどのように貢献できるか、議論したい。

オーガナイザー 辻幸一（大阪公立大学）、藤原学（龍谷大学）

依頼講演者（案）

- ・米村祥央（文化庁文化資源活用課）文化庁の京都への移転と分析化学会に望むこと（内諾）
- ・北野信彦（龍谷大学文学部）文化財の修復と分析化学の役割（内諾）
- ・阿部善也（東京電機大学工学部）文化財の X 線分析からわかること（内諾）
- ・岡田至弘（龍谷大学名誉教授）高精細デジタル写真による文化財の計測（内諾）

B. 「環境調和・資源循環型社会の創生と分析化学」

グローバルな気候変動危機に対応するために、環境調和型あるいは資源循環型社会のあり方が喫緊の課題となっている今、極地環境、大気環境、水環境、資源循環における分析化学の果たす役割について討論する。

オーガナイザー： 布施泰朗（京工繊大）、長谷川浩（金沢大）

依頼講演者（案）：

土壌極地：藤嶽暢英、布施泰朗、

大気環境：戸田敬（熊本大）、

水環境：沈尚（立命館大）、霜鳥孝一（国環研）

資源循環：橋本俊次、小口正弘（国環研）、三宅祐一（横国大）、田中周平（京大）

C. 「ものづくりを支える分析化学」

大阪、京都を中心としたものづくりに関連する企業研究者およびものづくり企業と連携している大学・研究機関の研究者との共同のセッションとして、分析化学の基盤技術と製品づくりの社会実装の間の連繋について議論を行う。

オーガナイザー： 山本雅博（甲南大理工）

依頼講演者（選定中）

島津製作所、堀場製作所、京都電子工業、サントリーなど

D. 「宇宙と分析化学」 市民公開講座 18日（土）午後

はやぶさプロジェクトで持ち帰られた小惑星の岩石分析から宇宙の現実が解き明かされつつある。何をどう分析し、何がわかったのか。プロジェクトに参加した研究者や関連企業を招待して、宇宙と分析化学の連繋について討論する。

オーガナイザー：村松康司（兵庫県大）、大城敬人（大阪大）

依頼講演者（候補者）：

<はやぶさⅡ試料の分析> 下記から2名を予定

上杉健太郎（SPRING-8）放射光分析（イメージング、有機物分析）

横山哲也（東工大）ICP-MS、元素分析

奈良岡浩（九大）有機物分析

藤島皓介（東工大）アストロバイオロジー

小林憲正（横浜国大名誉教授）アストロバイオロジー、生命の起源

<知的地球外生命体探索> 1名

鳴沢真也（西はりま天文台、兵庫県立大）電波分光

<宇宙関連ものづくり企業> 下記から1名を予定

岡島礼奈（宇宙ベンチャーの株式会社 ALE）小型人工衛星、人工流れ星

宇宙開発共同組合 SOLA「まいど1号開発」

合同会社 K4 Ventures

スペースポート紀伊

以 上

(別紙) 第 84 回分析化学討論会 実行委員会名簿

氏名	所属	氏名	所属
(執行部)			
前田 耕治	京都工芸繊維大学(委員長)	辻 幸一	大阪公立大学(副委員長)
久本 秀明	大阪公立大学(副委員長)	村松 康司	兵庫県立大学(副委員長)
山本 雅博	甲南大学(副委員長)	戸田 敬	熊本大学(特別顧問)
遠田 浩司	富山大学(特別顧問)	吉田 裕美	京都工芸繊維大学(総務)
久保 拓也	京都大学(会計)	中原 佳夫	和歌山大学(プログラム編成)
牧 秀志	神戸大学(登録管理)	北隅 優希	京都大学(広報・HP)
布施 泰朗	京都工芸繊維大学(企業展示)	末吉 健志	大阪公立大学(若手ポスター)
小山 宗孝	京都大学(一般・産業界ポスター)	西 直哉	京都大学(懇親会)
(実行委員)			
青山 佳弘	島津製作所	石濱 泰	京都大学薬学研究科
岩井 貴弘	理化学研究所	岩月 聡史	甲南大学理工学部
宇田 亮子	奈良高専	遠藤 達郎	大阪公立大学工学研究科
大城 敬人	大阪大学産業科学研究所	岡本 行広	大阪大学基礎工学研究科
奥田 浩子	島津テクノリサーチ	糟野 潤	龍谷大学先端理工学部
門 晋平	和歌山大学システム工学部	金尾 英佑	京都大学薬学研究科
川崎 英也	関西大学化学生命工学部	北山 紗織	紀本電子工業(株)
久保埜 公二	大阪教育大学教育学部	倉内 奈美	京都電子工業(株)
小池 亮	花王(株)	駒谷 慎太郎	堀場テクノサービス
椎木 弘	大阪公立大学工学研究科	干赤 卓史	京都大学化学研究所

初 雪	京都工芸繊維大学分子化学系	下条 晃司郎	日本原子力研究開発機構
許 岩	大阪公立大学工学研究科	白井 理	京都大学農学研究科
鈴木 雅登	兵庫県立大学物質理学研究科	諏訪 雅頼	大阪大学理学研究科
瀬戸 康雄	理研放射光科学センター	外間 進悟	京都工芸繊維大学分子化学系
宋和 慶盛	京都大学農学研究科	高原 晃里	(株)リガク
高野 祥太郎	京都大学化学研究所	千葉 光一	関西学院大学理工学部
谷田 肇	日本原子力研究機構	坪井 泰之	大阪公立大学理学研究科
塚原 聡	大阪大学理学研究科	床波 志保	大阪公立大学工学研究科
壺井 基裕	関西学院大学理工学部	中口 譲	近畿大学理工学部
永井 秀典	産業技術総合研究所	長谷川 健	京都大学化学研究所
中田 靖	大阪公立大学研究推進機構	平原 将也	大阪工業大学工学部
藤嶽 暢英	神戸大学農学研究科	藤森 啓一	大阪工業大学工学部
藤原 学	龍谷大学先端理工学部	堀田 弘樹	神戸大学海事科学研究科
丸尾 雅啓	滋賀県立大学環境科学部	向井 浩	京都教育大学
森内 隆代	大阪工業大学工学部	森澤 勇介	近畿大学総合理工学研究科
森田 成昭	大阪電気通信大学工学部	矢嶋 摂子	和歌山大学システム工学部
安川 智之	兵庫県立大学物質理学研究科	山口 敬子	大阪薬科大学
山本 佐知雄	近畿大学薬学部	山本 茂樹	大阪大学理学研究科
吉田 朋子	大阪公立大学人工光合成研究センター		
Confit 小委員会			
平山 直紀	東邦大学理学部	津越 敬寿	産業技術総合研究所

※青字：削除、赤字：追加

【選 考 報 告 書】

2023 年 7 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会
会 長 大谷 肇 殿

学会賞等審査委員会
委員長 辻 幸一

学会賞及び奨励賞規程に基づき、2023 年度学会賞及び奨励賞受賞候補者を下記のとおり選考いたしましたので、ご報告申し上げます。

[2023 年度学会賞受賞候補者]

高 椋 利 幸 君 （佐賀大学理工学部・教授）
研究業績 有機分子の溶存構造に関するミクロからメゾスコピックレベルにおける分析法の開発
松 井 利 郎 君 （九州大学大学院農学研究院・教授）
研究業績 食品因子の生体利用性に関する分析化学的研究
宮 部 寛 志 君 （立教大学理学部・特別専任教授）
研究業績 モーメント理論に基づく高性能液相分離系の分析機能創出に関する研究

[2023 年度奨励賞受賞候補者]

稲 田 幹 君 （九州大学中央分析センター・准教授）
研究業績 環境・エネルギー問題解決のためのセラミックス開発と構造解析
鈴 木 敦 子 君 （山口大学大学院創成科学研究科・助教）
研究業績 金属錯体の特性を利用した分離・分析機能の開発
高 野 祥 太 朗 君 （京都大学化学研究所・准教授）
研究業績 地球化学・海洋化学における微量金属同位体比分析に関する研究
田 中 佑 樹 君 （千葉大学大学院薬学研究院・助教）
研究業績 ICP 質量分析計を用いた生命金属元素の応用分析法の開発
渡 辺 壱 君 （フロンティア・ラボ(株)・代表取締役社長）
研究業績 熱分解 GC/MS による高分子材料関連のキャラクタリゼーション

追って、審査に当たりました学会賞等審査委員会の構成は下記のとおりです。

委員長 辻 幸一

委 員 石濱 泰, 岡田哲男, 香川信之, 片山佳樹, 黒田直敬, 敷野 修, 四宮一総, 戸田 敬,
久本秀明, 平田岳史, 前田耕治, 山本博之

【選 考 報 告 書】

2023 年 7 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会
会 長 大 谷 肇 殿

学会功労賞・技術功績賞審査委員会
委員長 手嶋 紀雄

学会功労賞・技術功績賞規程に基づき、2023 年度学会功労賞・技術功績賞受賞候補者を下記のとおり
選考いたしましたので、ご報告申し上げます。

[2023 年度学会功労賞受賞候補者]

大橋弘三郎 君 (茨城大学・名誉教授)

研究業績 キレート配位子による金属元素の選択的分離法の開発および学会への貢献

[2023 年度技術功績賞受賞候補者]

駒谷慎太郎 君 ((株)堀場テクノサービス・分析技術本部長)

研究業績 X 線分析顕微鏡の開発とその応用

澤津橋徹哉 君 (三菱重工業(株)・主席研究員)

研究業績 PCB 無害化処理プロセス用オンライン迅速分析技術の開発とその社会実装

追って、審査に当たりました学会功労賞・技術功績賞審査委員会の構成は下記のとおりです。

委員長 手嶋紀雄

委 員 上野祐子, 梅林泰宏, 齋藤伸吾, 東海林敦, 白井 理, 菅沼こと, 高橋あかね, 丹羽 修,
古庄義明, 宮下 隆, 吉田裕美

【選 考 報 告 書】

2023 年 7 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会
会 長 大 谷 肇 殿

先端分析技術賞審査委員会
委員長 手嶋 紀雄

先端分析技術賞規程に基づき、2023 年度先端分析技術賞受賞候補者を下記のとおり選考いたしましたので、ご報告申し上げます。

[2023 年度先端分析技術賞受賞候補者]

JAIMA 機器開発賞

西尾 友志 君 ((株)堀場アドバンスドテクノ・マネジャー)
室賀 樹興 君 ((株)堀場アドバンスドテクノ・チームリーダー)
高味 拓永 君 ((株)堀場アドバンスドテクノ)
橋本 忠範 君 (三重大学大学院工学研究科・准教授)
石原 篤 君 (三重大学大学院工学研究科・教授)

研究業績 工業用無補充式セルフクリーニング pH 電極の製品開発およびその防汚技術

追って、審査に当たりました先端分析技術賞審査委員会の構成は下記のとおりです。

委員長 手嶋紀雄

委 員 上野祐子, 梅林泰宏, 齋藤伸吾, 東海林敦, 白井 理, 菅沼こと, 高橋あかね, 丹羽 修,
埜中孝則, 古庄義明, 宮下 隆, 吉田裕美

【選 考 報 告 書】

2023 年 7 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会

会 長 大谷 肇 殿

女性 Analyst 賞審査委員会

委員長 保倉 明子

女性 Analyst 賞規程に基づき、2023 年度女性 Analyst 賞受賞候補者を下記のとおり選考いたしましたので、ご報告申し上げます。

[2023 年度女性 Analyst 賞受賞候補者]

木村-須田廣美 君（公立千歳科学技術大学理工学部・教授）

研究業績 赤外・ラマンイメージングによる骨ミネラル代謝の可視化解析法の開発

吉田 朋子 君 （大阪公立大学人工光合成研究センター・教授）

研究業績 X 線吸収分光を基軸とした定量的局所構造・電子状態解析法の構築と複合型その場分析への展開

追って、審査に当たりました女性 Analyst 賞審査委員会の構成は下記のとおりです。

委員長 保倉明子

委 員 石濱 泰，上野祐子，大谷 肇，鈴木真由美，藤浪真紀，吉田裕美

【選 考 報 告 書】

2023 年 7 月 3 日

公益社団法人日本分析化学会
会 長 大谷 肇 殿

有功賞審査委員会
委員長 山本博之

有功賞規程に基づき、2023 年度有功賞受賞候補者を下記のとおり選考いたしましたので、ご報告申し上げます。

[2023 年度有功賞受賞候補者]

小室 ゆう子	JX 金属ファウンドリー(株)	千田 祐美	日鉄テクノロジー(株)
小住 孝宏	(株)ニコン	鈴木 一光	日鉄テクノロジー(株)
東 康則	花王(株)	石田 博基	日鉄テクノロジー(株)
小林 秀司	(独)造幣局	谷口 裕美子	旭化成(株)
加倉井 洋祐	ENEOS(株)	伊藤 秀己	旭化成(株)
水澄 昌宏	住友金属鉱山(株)	栗原 茂	三菱マテリアル(株)
菅 寿夫	住友金属鉱山(株)	大島 洋一	MHI ソリューションテクノロジーズ(株)
高木 正徳	(株)日立ハイテクサイエンス	後藤 直美	(株)三井化学分析センター
古屋 裕子	日産化学(株)	鳥井田 直美	(株)三井化学分析センター
長谷 恒一郎	住友電気工業(株)	山田 裕二	(株)三井化学分析センター
前田 憲二	(株)コベルコ科研	江口 祐一	(株)三井化学分析センター
森 有紀子	味の素(株)	五戸 佐織	(株)三井化学分析センター
大島 輝男	(株)日立ハイテクフィールドディング	松本 弘和	(株)住化分析センター
西村 重夫	(株)日立ハイテクフィールドディング	岩崎 知子	(株)住化分析センター
家田 まゆみ	(株)大同分析リサーチ	星野 健司	JFE テクノリサーチ(株)
井垣 敬士	(株)島津製作所	白鳥 英雄	JFE テクノリサーチ(株)
原田 最之	(株)島津製作所	松本 博美	JFE テクノリサーチ(株)
中村 光昭	(株)島津製作所	清水 誠司	JFE テクノリサーチ(株)
長西 敦子	(株)島津製作所	武中 彩	(株)東レリサーチセンター
藤井 学	(株)島津製作所	谷井 義治	(株)東レリサーチセンター
御代田 恭子	(株)レゾナック	小田島 千子	JFE スチール(株)
高橋 里織	(株)レゾナック	武石 正幸	DOWA テクノリサーチ(株)
篠田 昭二	日本ポリエチレン(株)	鈴木 博美	DOWA テクノリサーチ(株)
上野 勝利	(株)レゾナック	奥田 和弘	(株)トクヤマ
野口 純	(株)レゾナック	富岡 強	デンカ(株)
後々田 忠夫	(株)UBE 科学分析センター	新村 典康	日本電子(株)

追って、審査に当たりました有功賞審査委員会の構成は下記のとおりです。

委員長 山本博之

委 員 朝日 剛, 井原敏博, 江坂幸宏, 大江知行, 倉光英樹, 手嶋紀雄, 平山直紀, 保倉明子,
安田純子, 山本雅博

第 40 回無機・分析化学コロキウム

令和 5 年 5 月 26 日（金）～27 日（土）

協同の杜 J A 研修所

〒990-2375 山形市東古舘 123 番地

主催：日本化学会東北支部

共催：日本分析化学会東北支部

第 40 回無機・分析化学コロキウム プログラム

2023 年 5 月 26 日（金） 13:00 ～ 5 月 27 日（金） 12:00

協同の杜 J A 研修所（〒990-2375 山形市東古 123 番地）

<https://www.nokyo.or.jp/kyodo/k-top>

5 月 26 日（金）

13:00~13:05 開会挨拶 木野 康志 （東北大理）

座長 木野 康志（東北大理）

13:05~13:55 招待講演 1 門叶 冬樹 （山形大理）
「山形大学で進める加速器研究の最前線」

座長 橋本 久子（東北大理）

14:05~14:30 依頼講演 1 福山 真央 （東北大多元研）
「微小タンパク質液滴からのアミロイド核生成速度の計測」

14:30~14:55 依頼講演 2 佐藤 雄介 （東北大理）
「高曲率性脂質膜を標的とした分子ツールの設計と応用」

座長 木野 康志（東北大理）

15:10~15:35 依頼講演 3 佐藤 啓太 （東北大理）
「低原子価の水素化アルミニウムを配位子とする新しい遷移金属
錯体の創製」

15:35~16:00 依頼講演 4 宮坂 等 （東北大金研）
「分子スポンジ物性制御」

16:00~17:30 自由時間

17:30~18:30 夕食

18:30~20:30 懇親会

5月27日(土)

7:20~8:30 朝食

9:00 チェックアウト

座長 福村 知昭(東北大理・AIMR)

9:20~10:10 招待講演 2 二宮 和彦 (大阪大放射線科学基盤機構)
「奇妙な原子、ミュオン原子の形成過程とその応用」

10:10~10:35 依頼講演 5 神谷 直紀(東北大理)
「陽電子化合物の光解離反応」

座長 西澤 精一(東北大理)

10:45~11:10 依頼講演 6 河底 秀幸(東北大理)
「遷移金属酸化物における結晶相の熱的スイッチングによる電気伝導性の巨大変調」

11:10~11:35 依頼講演 7 豊田 良順(東北大理)
「光で動く分子マシンとその活用」

11:35~11:45 閉会挨拶 木野 康志 (東北大理)

R05 80周年記念大会：暫定タイムテーブル（2023.6.26最新版）

Sep. 8 (Fri.)	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J	Room K
8. AM	有機化学・有機化学 コロキウム 10:00 ~ 12:00	物理化学コロキウム Colloquium of Physical Chemistry 10:00 ~ 12:00	材料・接着 Materials Chemistry and Adhesion 10:00 ~ 12:00	若手シンポジウム 未10:00 ~ 12:00		化学工学 グリーンケミスト リーに関するプロセ ス技術・システム設 計 Process technologies and systems design for green chemistry 10:00 ~ 12:00		予備会場 休憩会場など	分析化学・環境化学 Analytical Chemistry 10:00 ~ 11:55	高分子・繊維／ 高分子コロキウム／ 生体分子 医薬と高分子 Macromolecules for Pharmaceuticals 10:00 ~ 12:00	予備会場 休憩会場など
Lunch											
8. PM	有機化学・有機化学 コロキウム 13:00 ~ 15:00	物理化学コロキウム Colloquium of Physical Chemistry 13:00 ~ 15:00	無機化学・ セラミックス化学 Inorganic and ceramic materials 13:00 ~ 13:50	若手シンポジウム 未13:00 ~ 15:00	ナノマテリアルコロ キウム 未13:00 ~ 15:00			予備会場 休憩会場など	分析化学・環境化学 Analytical Chemistry 13:00 ~ 15:00	高分子・繊維／ 高分子コロキウム／ 生体分子 医薬と高分子 Macromolecules for Pharmaceuticals 13:00 ~ 15:00	予備会場 休憩会場など
Poster Session I (Commons & Aobayama Gymnasium) 15:15 ~ 16:45											
Sep. 9 (Sat.)	Room Q (Kawauchi Hagi Hall)										
9. AM	Special Lecture I 9:25 ~ 11:50 Lunch										
9. PM	Special Lecture II 12:50 ~ 18:10										
9. evening	Banquet (18:30 ~) (Kawauchi)										
Sep. 10 (Sun.)	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J	Room K
10. AM	有機化学・有機化学 コロキウム 10:00 ~ 12:00	物理化学 Physical Chemistry 10:00 ~ 12:00		実行委員特別企画 Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality 10:00 ~ 12:30		化学教育 未10:00 ~ 12:00	電気化学 Electrochemistry 10:00 ~ 12:00	予備会場 休憩会場など		高分子・繊維／ 高分子コロキウム／ 生体分子 次世代デバイスと高 分子 Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials 10:00 ~ 12:00	予備会場 休憩会場など
Lunch											
Poster Session II (Commons & Aobayama Gymnasium) 13:00 ~ 14:30											
10. PM	有機化学・有機化学 コロキウム 14:45 ~ 16:45	物理化学 Physical Chemistry 14:45 ~ 16:45	無機化学・ セラミックス化学 Inorganic and ceramic materials 14:45 ~ 15:35	実行委員特別企画 Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality 14:15 ~ 16:45	ナノマテリアルコロ キウム 未14:45 ~ 16:45	化学教育 未14:45 ~ 16:45		予備会場 休憩会場など	高分子・繊維／ 高分子コロキウム／ 生体分子 環境と高分子 Polymers and Environment 14:45 ~ 16:45	高分子・繊維／ 高分子コロキウム／ 生体分子 次世代デバイスと高 分子 Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials 14:45 ~ 16:45	予備会場 休憩会場など
Closing Ceremony, Room A + Online 16:50 ~											

令和5年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部80周年記念国際会議

会期：令和5年9月8日（金）～10日（日）

（参考：分析年会@熊本 9月13日（水）～15日（金））

＊ 9月8日（金）

午前1コマ（10:00～12:00）：招待35分×3（break 10 min）

- ・ Prof. Hinze（米国）（on line）＜座長 高貝先生＞
- ・ Prof. Aijun Tong（童 愛軍、中国清華大学）＜座長 西澤＞
- ・ Prof. Ishihama（石濱 泰、京都大、前日本分析化学会副会長）＜座長 大江先生＞

午後1コマ（13:00～15:00）：依頼10分×11（break 10 min）

“Lecture Relay on Analytical Chemistry at Tohoku Branch”

＜座長 壹岐先生＞

- ・ 北川文彦（弘前大）
- ・ 尾高雅文（秋田大）
- ・ 上條利夫（鶴岡高専）
- ・ 伊藤徹二（産総研）
- ・ 藤村 務（東北医科薬科大）
- ・ 多田美香（東北工大）

＜座長 珠玖先生＞

- ・ 遠藤昌敏（山形大）
- ・ 大江知行（東北大院薬）
- ・ 熊谷将吾（東北大院環境）
- ・ 加藤 健（福島高専）
- ・ 高貝慶隆（福島大）

2023 年 7 月 3 日 作成

事業報告書

令和 5 年度東日本分析化学若手交流会

1. 事業概要

事業名	令和 5 年度東日本分析化学若手交流会
開催日時	2023 年 6 月 23 日（金）13:00 ～ 19:00
会場	東北大学環境科学研究科棟（2階大講義室，1階展示スペース）
参加者数	67 名（学生：50 名，一般：17 名）
参加費	1,000 円
懇親会費	学生：2,000 円，一般：4,000 円
世話人	東北大学壹岐研究室 唐島田龍之介

招待講演：2 件

- ・東北大学大学院理学研究科 井上賢一 先生
演題：非線形分光を用いた界面反応分析
- ・茨城工業高等専門学校 澤井光 先生
演題：アミノポリカルボン酸系キレート剤を活用した金属成分の分離と環境技術への応用

学生依頼講演：3 件

- ・東北大学大学院理学研究科 岡田正大 様
演題：アルミナ多孔膜を用いたエクソソームの分析技術開発
- ・東北大学大学院工学研究科 宇田川喜信 様
演題：微小流路と多孔膜電極を用いた血管モデルの構築と一酸化窒素の電気化学検出
- ・福島大学大学院共生システム理工学研究科 丹治珠緒 様
演題：化学分析がリードする多変量解析～目に見えないものを可視化する手法～

・ポスター発表

発表件数：39 件（内，一般 6 件）

優秀ポスター賞：3 件

- P01 「Apolipoprotein A-I C 末端領域をベースとした蛍光応答性プローブにおける活性領域の同定とエクソソーム表面性質解析への応用」
（東北大院理¹）○成田在弘¹，佐藤雄介¹，西澤精一¹
- P11 「エクソソームを検出するための光ファイバー表面プラズモン共鳴センサーの界面設計」
（東京薬大¹，愛工大²）○北谷菜津美¹，藤本弥有希¹，守岩友紀子¹，森岡和大¹，井上嘉則²，柳田顕郎¹，東海林敦¹
- P22 「マイクロ流体デバイス中でのイオン液体水溶液の相分離を利用したタンパク質の定量的な抽出及び濃縮」
（宇都宮大学大学院¹）○佐々木蓮¹，上原伸夫¹，稲川有徳¹

2. 会計報告

収入		支出	
参加費	65,000	要旨集代	56,870
懇親会費	118,000	懇親会費	114,000
日本分析化学会 全国若手交流会助成金	50,000	講演謝礼，交通費	48,840
東北支部補助金	84,091	アルバイト謝金	55,000
		ポスター賞副賞	15,000
		光熱水料※	8,196
		雑費 (名札ホルダー，賞状など)	19,185
計	317,091	計	317,091

※光熱水料については現時点（7/3）で支払っていない（金額のみ担当部署に確認済み）
→8月上旬に請求書発行予定→その後支払い

以上

申し込み締め切り後の参加・不参加，当日受付反映最終版

令和5年度東日本分析化学若手交流会 参加者一覧（敬称略）

○東北大学大学院理学研究科
（西澤研）

佐藤 雄介	一般	
岡田 正大	D1	学生依頼講演
岡野 琴羽	M1	ポスター
栗原 慧志	M1	ポスター
齊藤 颯翔	M1	ポスター
長岡 正朗	M1	ポスター
成田 在弘	M1	ポスター
山崎 友裕	M1	ポスター

○東北大学大学院理学研究科
（叶研）

井上 賢一	一般	招待講演
岡本 理花	M2	ポスター
平出 武	M1	ポスター

○東北大学大学院薬学研究科
（大江研）

大江 知行	一般	
幡川 祐資	一般	
高橋 海斗	M1	ポスター
田中 龍生	M1	ポスター

○東北大学大学院工学研究科
（珠玖研）

宇田川 喜信	D1	学生依頼講演
望月 紳司	M2	ポスター

○東北大学大学院環境科学研究科
（吉岡研）

熊谷 将吾	一般	
柳澤 匠	M1	ポスター

○東北大学大学院環境科学研究科
（壹岐研）

壹岐 伸彦	一般	ポスター
唐島田 龍之介	一般	ポスター
澤村 瞭太	一般	ポスター
上田 悠宇杜	M2	
大濱 康平	M2	ポスター
進藤 なな帆	M1	ポスター
中原 幹	M1	ポスター
林 勇希	M1	
佐藤 悠仁	B4	
橋本 賢治	B4	
林 明徳	B4	
藤澤 快星	B4	
山岸 諒也	B4	
陳霖		研究生

○福島大学共生システム理工学研究科
（高貝研）

丹治 珠緒	D1	学生依頼講演
岩本 友樹	M1	ポスター
楠 裕翔	M1	
立野 巧真	M1	ポスター
長沼 和希	M1	
伊藤 央泰	B4	
中村 恋乃	B4	
司朝陽	B4	
ビャムバドルジ アナラ		学生

○宇都宮大学計測化学研究室
（上原研）

佐々木 蓮	M2	ポスター
-------	----	------

申し込み締め切り後の参加・不参加，当日受付反映最終版

○茨城工業高等専門学校
（澤井研）

澤井 光	一般	招待講演
------	----	------

○日本原子力研究開発機構
先端基礎研究センター

岡村 浩之	一般	
-------	----	--

○産業技術総合研究所
環境創生研究部門

青木 寛	一般	
寺田 侑平	一般	ポスター

○筑波大学理工学群化学類
（中谷研）

伊藤 智彩	B4	ポスター
河野 晴香	B4	ポスター

○埼玉大学大学院理工学研究科
（齋藤研）

鈴木 陽太	一般	
松永 光司	一般	ポスター
保住 真成	M2	ポスター
杉山 開	M1	ポスター
細渕 竜真	M1	ポスター

○東京大学生産技術研究所
（南研）

大代 晃平	D1	ポスター
川島 嵩之	M1	ポスター
丹羽 貴久	M1	ポスター

○上智大学大学院理工学研究科
（早下・橋本研）

佐藤 海	M2	ポスター
------	----	------

○東京都立大学大学院分析化学研究室
小山 大輝 M1 ポスター

○東京薬科大学学生体分析化学教室

東海林 敦	一般	
森岡 和大	一般	
北谷 菜津美	D1	ポスター
千明 大悟	D1	ポスター
中村 好花	D1	ポスター
北爪 颯	B6	ポスター

○東京薬科大学分析化学教室

町田 晃一	一般	ポスター
森山 友滋	B6	ポスター

計 67 名（一般：17 名，学生：50 名）

令和 5 年度 公益社団法人日本分析化学会東北支部助成金
審査結果報告

公益社団法人 日本分析化学会 東北支部
支部助成金選考委員会

記

2023 年 7 月 5 日(水)に開催した支部助成金選考委員会(メール審議)で、下記申請を慎重に審査した結果、全会一致で本申請が支部助成金に相応しいと判断いたしました。つきましては支部役員会での審議をお願い申し上げます。

「酸化還元活性な近赤外吸収錯体の自己凝集を利用した腫瘍選択的な造影・治療システムの開発」

代表研究者:澤村 瞭太(東北大学大学院 環境科学研究科 先端環境創成学専攻 助教)

共同研究者:権田 幸祐(東北大学大学院 医学系研究科 教授)

松井 裕史(筑波大学大学院人間総合科学研究科 講師)

以上

*参考

募集開始:2023 年 5 月 2 日(火)

申請締切:2023 年 6 月 23 日(金)

応募件数:1 件